

平成 28 年度山江村地域づくり研究所及び
山江村未来塾 100 人委員会運営支援業務報告書

平成 29 年 3 月

株式会社 地域総研

目 次

I. 山江村地域づくり研究所運営支援業務

1	山江村地域づくり研究所運営支援業務	1
2	経緯一覧	1
3	第1回山江村未来塾 100人委員会シンポジウム	2
4	第2回山江村未来塾 100人委員会ワークショップ	2
5	第3回山江村未来塾 100人委員会ワークショップ	5
6	ワークショップ結果	6
7	村づくりの課題と主要事業案	18
8	分野別村づくり検討会	19
9	村づくり部会長及び書記の決定	21
10	若手の会	22
11	ある日の山江村プロジェクト	22

II. 山江村未来塾 100人委員会運営支援業務

1.	山江村未来塾 100人委員会運営支援業務	23
2	経緯一覧	23
3	部会別村づくり活動の方向	25
	部会の活動記録（資料）	34

I . 山江村地域づくり研究所運営支援業務

1. 山江村地域づくり研究所運営支援業務

山江村が今後進める地域づくりについて、山江村未来塾 100 人委員会と連携して地域づくりの主要な事業の方向と課題を整理するとともに、住民自らが参画して地域づくりに取り組む村づくり組織を立ち上げ、事業の円滑な推進を支援する。

2. 経緯一覧

<平成 28 年>

- 4 月 27 日 (水) シンポジウム「誰もが元気で楽しく暮らしやすい村を目指して」
- 5 月 19 日 (木) ワークショップ「私の夢・希望そして村づくり」
- 6 月 15 日 (水) ワークショップ「村づくり部会の立ち上げに向けて」
- 6 月 29 日 (水) 農業・ブランド化分野の村づくり検討会
- 7 月 1 日 (金) 観光・文化分野の村づくり検討会
- 7 月 4 日 (月) 環境・防災分野の村づくり検討会
- 7 月 6 日 (水) 福祉分野の村づくり検討会
- 7 月 8 日 (金) 教育・人材育成分野の村づくり検討会
- 8 月 6 日 (土) 村づくり部会全体交流会 (於：山江温泉ほたる)
- 8 月 18 日 (木) 村づくり部会長及び書記打合せ会議
- 10 月 1 日 (土) 若手の会 (第 1 回)

<平成 29 年>

- 1 月 31 日 (火) ある日の山江村 (1Day Project 第 1 回)
- 2 月 13 日 (月) ある日の山江村 (1Day Project 第 2 回)
- 2 月 23 日 (木) ある日の山江村 (1Day Project 第 3 回)
- 3 月 9 日 (木) ある日の山江村 (1Day Project 第 4 回)
- 3 月 16 日 (木) ある日の山江村 (1Day Project 第 5 回)
- 3 月 25 日 (土) ある日の山江村 (1Day Project 第 6 回)

3. 第1回山江村未来塾 100人委員会シンポジウム

平成28年4月27日（水）に、山江村民を対象としたシンポジウム「誰もが元気で楽しく暮らしやすい村づくり」が開催された。シンポジウムに先立ち、東京大学大学院情報学環 特任講師の並木志乃氏より「山江村地方創生情報化戦略」の基調報告があり、農業・ブランド化、環境・防災、福祉、教育・人材育成の4分野ごとの情報化戦略について提案があった。その後のシンポジウムでは、これに観光・文化を加えた5分野の地域づくりと住民自らが参画して実践していく村づくり組織の必要性について確認し、本年度より新たな山江村の村づくりを住民参画のもとで始めていくことを提唱した。（参加者100人、会場：山江村農村環境改善センター）



シンポジウム（4/27）会場：山江村農村環境改善センター

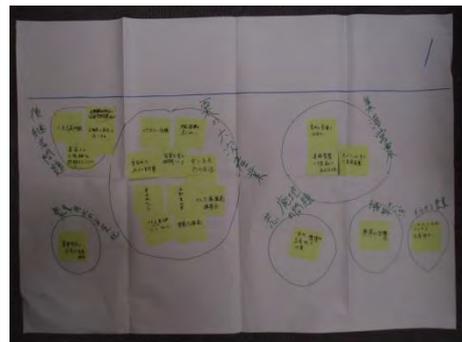
4. 第2回山江村未来塾 100人委員会ワークショップ

平成28年5月19日（木）に、「私の夢・希望そして村づくり」をテーマにワークショップを開催した。

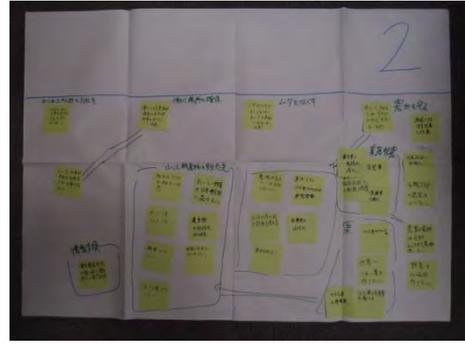
参加者全員が、4月27日に開催されたシンポジウムで提案された山江村の地域づくりの5分野（農業・ブランド化、観光・文化、環境・防災、福祉、教育・人材育成）に分かれて、それぞれテーブル（班）ごとに、自分の将来の夢や希望、村づくりについて書き出し、キーワードによるまとめを行った。（参加者76人、会場：山江村農村環境改善センター）

【農業・ブランド化の分野】

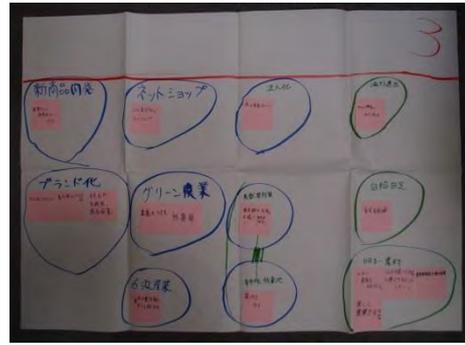
1班



2 班

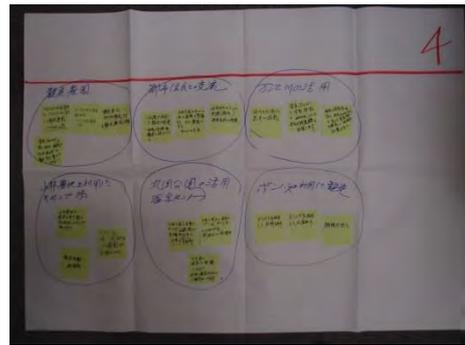


3 班

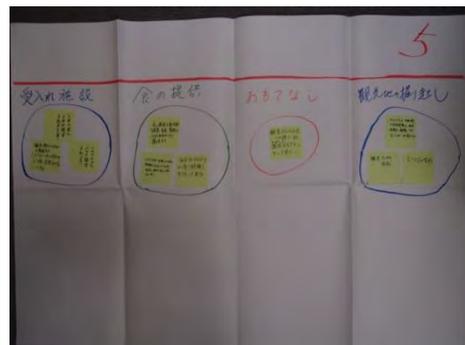


【観光・文化の分野】

4 班



5 班



6 班



【環境・防災の分野】

7 班



8 班

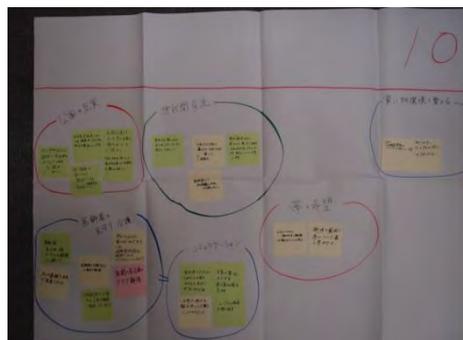


【福祉の分野】

9 班



10 班



【教育・人材育成の分野】

11 班



12 班



5. 第3回山江村未来塾 100人委員会ワークショップ

平成28年6月15日(水)に、「村づくり部会の立ち上げに向けて」をテーマにワークショップを開催した。

5月19日(木)に開催したワークショップの結果をもとに、5分野ごとの村づくり案を実現するために、現状と実現するための始めの第1歩について話し合い、内容の記述を求めた。最後に、次の段階からは5分野ごとに分かれて具体的な村づくりの進め方を話し合うこととした。(参加者38人、会場：山江村農村環境改善センター)



ワークショップ (6/15) 会場：山江村農村環境改善センター

6. ワークショップ結果

ワークショップ結果【農業・ブランド化】1班

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
1	後継者問題	人手不足の手配	高齢化の為労働者がいない	Uターンなど	Uターンは若い人は30年後位	担い手育成支援
1		農家さん達の後継者問題をどうにかしたい	〃	集落営農法人化	組織ができるまで4~5年?	
1		若者の農家の担い手	〃			
1		田んぼ協同作業したい	〃			
1	農業用水の安定化	農業用水の安定な保持・維持	天候の状況により水量不安定	関係者で作業。頭首工の整備。ポンプの整備。	5~10年	農地整備
1	栗の六次産業	栗ひろい体験				地方創生
1		栗の面積を広くしたい	人手不足の為、難しい			
1		栗園地の鳥獣害対策	苗木は網で囲む	防護柵が電牧より良いのでは		
1		良質な栗を短期間につくる		栗園になるべく足を運ぶ		
1		栗の直売所の開設	個人的にはないと思う	J Aやまえや温泉センターへ依頼する		
1		栗反取増		剪定と肥料をやる		
1		鳥獣害対策	上記と同じ			
1		甘露煮販売講習会	現在は山江堂さんのみと思う			
1		やまえ栗を使って万頭作って	くり万頭	もち栗万頭を作っては(なかや万十バージョン)		
1		栗園での販売	栗ひろい体験			
1	集落営農	農地の集積の促進化				集落営農支援
1		集落営農の必要を感じる、高齢化のため			組織ができるまで待つ	
1		老人の仕事として集落営農			〃	
1	荒廃地の問題	農地遊休地、荒廃地の対策		共同作業により解消		遊休農地対策
1	薬草栽培	薬草の効果				
1	儲かる農業	作った人々が儲かる生産体制		地産地消		地方創生

ワークショップ結果【農業・ブランド化】2班、3班合同

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
2	かくれた人材を引き出す	漬物つけの上手なおばさんの力を借りたい	自分の家だけ	対象者の掘り起こし。集まって山江村ブランドつけもの販売。	1～2年後	
2	働く場所の確保	楽しく作業すれば病気にもならずお金は入るしいいなあ	〃	法人化	1～2年後	企業誘致
2		いつも仕事があれば元気な人は仕事できるのに	〃			
2	情報交換	栗生産者同士の話し合う場を作る(夜間利用)		勉強会の立ち上げ。栗研究会の活用	☆若い者を入れないなら× 1年以内	百人委員会
2	ムダをなくす	くず野菜などすてるものがたくさんあるのもったいないなあ	捨てている	受入体制。学校給食など。	1年以内	
2	山江特産物の販売先	商品の売り先があればいいなあ		〃	1年以内	
2		おいしい野菜を日本全国に届けたい		〃		
2		おいしい米づくりしたい		〃		
2		野菜づくりしたい		〃		
2		おいしい栗づくりしたい		〃		
2		農産物の特性化、万江地区		万江独自の農産物を作る	1～2年後	
2		野菜の有機栽培をしたい		勉強会の立ち上げ。	1年以内	
2	集落営農	集落営農	ない	法人化へシフト。		集落営農支援
2		集落農業の実現化	ない	進行中		
2		農作業の機械化導入	?			
2		農業機械の協同利用、リース制度の設置	?			
2		農業の資材は全部山江村産を使いたい				
2	地産地消	地産地消に取り組みたい				
2		有機JASの認定をとりたい				
2		野菜を100品目作りたい		みんなで作る。		
2	栗	山江栗のブランド化		取組中		栗コンソーシアム
2		世界一うまい栗を作りたい		加工(6次化へシフト)		
2		やまえ栗の新開発		〃		
2		山江栗の生産量を増やす				
2	農地を守る	農地をまもる				農業委員会
2		農地を守りたい				
2		休耕地の活性化				
2		農地が永久にいかせたら嬉しい				
2		山江の冬の田の利用を考える		麦を作る	☆価格の問題	
2		あちこち荒れた土地、竹やぶがある。もったいないなあ				
2		鳥獣による災害対策による案		村民全員で対策		

ワークショップ結果【農業・ブランド化】2班、3班合同

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
3	新商品開発	栗菓子の新商品を作る	開発中	6次産業化	1～2年	栗コンソーシアム
3	ネットショップ	山江農作物のネットショップ	//	//	//	
3	ブランド化	やまえ栗のブランド化	//	//	//	地方創生
3		農作物のブランド化	//	//	//	
3		もち米を利用し商品開発	//	//	//	
3	グリーン農業	農薬を減らす	進行中			
3		無農薬				
3	6次産業	作る農作物のすてる物をなくす	捨てている	学校関係で使ってもらうようにする		
3	法人化	栗の農業法人化				集落営農支援
3	鳥獣害対策	電気柵を全部のほ場に張る				鳥獣害対策
3	耕作放棄地	農地を守る				遊休農地対策
3	海外進出	やまえ栗の海外進出				栗コンソーシアム
3	自給自足	食卓自給率	進行中			
3	明るい農村	若い農家を増やしたい				
3		山江の若い人達が仕事できるようにしたい				
3		農業経営者を増やす(若者)				
3		楽しく農業をする				

ワークショップ結果【観光・文化】4班、5班合同

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
4	観光農園	川辺川土地改良地にパレイショ作りして観光農園（パレイショの花）	遊休農地	調査、土地所有者の意思確認	2年後	グリーンツーリズム支援
4		ガーデニングで花を見てもらう、フットパスの途中でも	なし			
4		観光案内、万江川の観光を活かす	ヤマメ釣大会 万江川塾	ネット配信 ホテル観光	今年から	
4		観光農園の推進	なし	栗狩り、栗園の情報配信、募集	1年後	
4		清流万江川を守るために、流域の山や田んぼを守り育てていきたい	なし			
4	山林農地を利用したキャンプ場	山田農地に農道を作り、奥の村有林にキャンプ場を作る	なし			
4		野外活動研究会	なし	緑の少年団との連携が必要	未定	
4		インターより近い荘？地に遊園地や公園を作る	なし	総合公園計画委員会	未定	
4	都市住民との交流	文化財を活用した観光の開発。地域の守神を観光に結びつける	なし	願掛け巡り 日本遺産事業	今年	グリーンツーリズム支援
4		丸岡公園を中心に体験農場を整備する。オーナー農園にする。町の人との交流。	なし			
4		他町村の人との交流（都市）。都市住民との交流。		ヤマメ釣大会 万江川での川遊び	今年	
4	丸岡公園、温泉センターの活用	丸岡公園に企業とのスポーツ合宿整備をし合宿所を作る。（企業のスポーツ合宿所）	なし	企業や種目の調査を行う	未定	総合公園計画
4		丸岡公園より温泉センターまで、すべり台。	なし	需要調査	未定	
4		山田地区、荘？地区に遊園地	なし	総合公園計画委員会	未定	
4		H3年に温泉を開場したが、丸岡→温泉センター→八幡神社→白岳	なし	フットパス計画の参考に にする	未定	
4	万江川の活用	河川を利用した花木の植栽	なし	環境づくり	未定	
4		清流万江川と淡島神社をメインに地域の物産館を目指します。	営業中	神社売店の充実を図る	今年	
4		地域の物産館を作り、地域の皆さんの育てた農産物を販売し、所得向上につなげたい。	営業中	〃	今年	
4	ボンバスを利用した観光	ボンバスを活用して名所巡り	なし	復活させる	今年	グリーンツーリズム支援
4		ボンバスを活用して石倉巡り	なし	〃	今年	
4		願掛け巡り	なし	〃	今年	

ワークショップ結果【観光・文化】4班、5班合同

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
5	受け入れ施設	丸岡公園に子どもが遊べる遊具を置く	ない	総合公園策定プロジェクトに任せる	未定	総合公園計画
5		観光の新しいスタイルを創造する(リピーター化に結びつける)特に若者をターゲットにする	なし	地域づくり研修の受け入れ	未定	
5		山江の方でも山江の観光を知らない	なし	地元での勉強会 観光案内人の育成	1年後	
5	食の提供	食の提供を専門的(健康、長寿、薬膳)に付加価値をつけて提供する	NPOで実施	薬膳料理の研修	1年後	グリーンツーリズム支援
5		フットパスで各家の自慢料理を出すことにより地区の活性化にならないか				
5		自分のアイデアの食(料理)を作ってみる				
5	おもてなし	観音さんのお参りの時に、また違った接待おもてなしをしてみたい				
5	観光地の掘り起こし	フットパスで各地域の文化財等を地区住民で整備、掘り起こしが出来たら！！				観光事業
5		観光マップの作成				
5		ボンバスの活用				

ワークショップ結果【観光・文化】6班

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
6	Out door, Activity	テントサイト(キャンプ) 場を作る	夏のみ子供達の利用	何を求められているのか現状の把握。最低限の設備の準備・今ある物を有効活用	3年後	
6		イベント広場の整備	〃			
6	シンボル	村のマスコットを作る	材料はあるが形になっていない	ボンネットバスを題材にステッカー、名刺、ミニチュア	1年後	
6		山江民謡を皆で作る	音頭 マロン合唱団昔あり	昔のおいらはマロンはリメイク		
6		ホタルの育成	以前は万江小で世話をしていた	万江小での復活、地域での育成方法の講習会	検討中(進行中)	
6	自然を生かす	万江川の「アシ(ヨシガヤ)」の利用	本来の川の姿を取り戻したい	利用方法を調べる		
6	情報発信	県外へのアピール(観光)				情報発信事業
6		山江村に人をよぶ				
6		各分野の情報サイト				
6		山江一周ツアー				
6		カレーのネット販売				
6	食の提供	うどん屋さん				
6		カレー屋さん				
6		パフェ。栗の面白いパフェ				
6		村民がもっと利用する商店を				
6		お子様ランチ無料の店				
6		そばのキッチン				
6		起業者への支援				
6	名産品	パンの製作				
6		清酒を作る				
6		米ぬかを使った商品の販売				
6	住	古家リフォーム援助				空家情報管理
6		空家再生				
6	さるく、走る、泳ぐ	健康のために歩く				グリーンツーリズム支援
6		山江の山に登る				
6		本堂さんへ歩いて行く				
6		村内を歩き回りたい				
6		お宮さんへ歩いて行く				
6		丸岡へ歩いて行く				
6		山江の村堺を歩く				
6		村中を歩く				
6		トライアスロン				
6		トゥデイマーチ 丸岡を中心にウォーキング				
6		参勤交代道を歩く				

ワークショップ結果【環境・防災】7班

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
7	公園	公園で遊ぶ場所を作る	なし	アンケート	3年	総合公園計画
7		丸岡公園を球磨人吉で一番にしたい	ツツジが咲かない	管理道路整備	5年	
7		公園までの道路沿いを一目でわかるように目印にツツジ街道にしたい	なし	目印になる所にツツジ	5年	
7	川遊び	山田川をできることから村民が集える公園ができないか	なし	場所の選定	3年	グリーンツーリズム支援
7		子どもの遊べる場所	なし	〃	〃	
7		管理つり場を作る（ヤマメ、マス）	なし	〃	〃	
7		川遊びできる場所、ビオトープ	なし	〃	〃	
7	鳥獣害対策	鹿、イノシシ皮。（バック）加工品	なし	皮の入手	1年	鳥獣害対策
7	防災対策	災害時のう回路の確保	少ない	林道、作業道の整備	1年	防災対策
7		災害の時のライフラインをとぎれさせないようにする	通りにくい 少ない	〃	〃	
7	森林資源	自然林（広葉樹）を増やしたい				
7	レジャー	モトクロス場を作る	ない	場所を探す	3年	総合公園計画
7		ジェットスキー（ウエイクボード）	ない	〃	〃	
7		ボルダリング	ない	〃	〃	
7		サバイバルゲーム	ない	〃	〃	
7		スラックライン	ない	〃	〃	
7		ツリーハウス（アスレチック）	ない	〃	〃	
7		森の中の迷路	ない	〃	〃	
7		山田川、万江川でカヌーコース	ない	〃	〃	
7	エネルギー	空き地を利用して村の発展のため、ソーラー基地か工場設立	ない	空き地をさがす	5年	再生可能エネルギー計画
7		水力発電	ない	チッソの水を取り返す		
7	空地対策	村内空き地を利用するため、まずどの位あるか？（調査）	ない	空地調査	5年	
7	人口	村内人口をどうして増やすか	人口が減っている	分譲地を作る、工場誘致、働く場所確保	5年	地方創生

ワークショップ結果【環境・防災】8班

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
8	森の公園作る(山・川・谷)	森林の公園作り	大川内にあるが村民に知られていない	CATVで放映してCMする	夏休み前	総合公園計画
8	ハンターを増やす、免許取得	若い人に狩の面白さを教える	免許取得者の高齢化	免許取得への村からの助成	平成29年度	鳥獣害対策
8	林業の生産性の向上	森林資源管理をしたいけど、村道が少ないので何とかならないだろうか	林道・作業道は整備されているが維持管理がされていない	維持管理する経費の村からの助成	平成29年度	林業振興対策
8		林業の活性化を図り生活できる林業	木材価格の低迷	特用林産物の開発生産販売	3年後	
8	現役団員の増加をめざす	消防団の一本化、人員を増やす	定員の確保はできている	若い人への加入促進	平成29年度	防災対策
8		消防団員の増員	〃	〃	〃	
8		消防団員への加入促進	〃	〃	〃	
8	公園の設置	各部落に公園を(小さい公民館などに)	丸岡・子山田、別府、永四切に設置されている	総合公園を計画する	2年後	総合公園計画
8	う回路の設置	主要道路(県道)の他に、う回路の設置				
8	水源を守り自然林を増やす	雑山を多くし水をきれいにする	人工林でも保水力はある	人工林の手入れをする	すぐに	
8		森林を守る(保全) 災害予防				
8	避難所見直し	避難所など				防災対策
8		大規模地震時の避難場所の確保				
8	災害対応	自然災害にたいする防災対策の強化				防災対策
8		火災ゼロ				
8		災害のない山江村				
8		減災				
8	防災マニュアル化	防災のマニュアル化を行う				防災対策
8		危険区域の徹底、防災マップを早く作成する				
8	鳥獣対策	栗山など保護ネット				鳥獣害対策
8		家のまわりに鹿とかタヌキ等が出るので対策を何とかしたい				
8		今後、鳥獣対策の強化が大変必要である。特にサルの対策は重大である。				
8	林業後継者	林業後継者育成				林業振興対策

ワークショップ結果【福祉】9班

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
9	年金配達	年金宅配便	J A では廃止方向	金融機関への働きかけ	なるべく早く	
9	高齢者縁側	お達者クラブ設立	設立している			高齢者福祉
9		地域高齢者の集まる場所	茶話会			
9		高齢者が集まり楽しくお茶のみ会をしたい	〃			
9		相互のコミュニケーション	〃			
9		皆で料理を作り食事をしたい	一部で食改が実施	各地域へのニーズ調査		
9		皆で野菜や花を作りたい	老人会			
9	介護施設	高齢者施設	足りない	要介護者へのニーズ調査	5年後	高齢者福祉
9	高齢者へのボランティア	高齢者へのボランティア	見守りネットワークはある	〃		高齢者福祉
9		在宅自活へ		要支援者家族へのニーズ調査	3年後	
9		買物支援	配食サービスのみ	〃	1年後	
9		公民館等での昼食サービス（高齢者）				
9	高齢者見守り	高齢者の見守り	見守りネットワーク			高齢者福祉
9		高齢者の見守り、声かけ	〃			
9		高齢化によって見守り対象者が増加	現状増加			
9		配達員の声かけサービス	行われていない	配達員への協力依頼		
9		在宅安否確認	見守りネットワーク			
9	子ども食堂	貧困児童のための子ども食堂	行われていない	ニーズ調査、協力者の募集	2年後	
9	障がい者、障がい児支援	障がいのある子どもへのケア	細やかなケアはない			障がい者支援
9		障がいのある子どもの利用しやすい施設、住みよい学校	特別学級			
9	ママ友	安心して子育てができる環境づくり	子どもが安心して遊べる公園が少ない	検討会で検討	2年後	子育てサロン
9		母親同士（子育て世代）が集まって話せる場所（機会）づくり	子育てサロン、絵本の森	ママ達へのイベント設立（土、日）	1年後	
9	企業誘致	企業誘致、60才過ぎたら仕事が無い	仕事がない	企業誘致	5年後	企業誘致
9	丸岡号の利用	丸岡号の乗車方法。あくまでも前日予約がいるのか？	予約が必要	将来的にはなくす	2年後	
9	ケーブルTVを使用した情報通信	タブレット活用	村としての活用はない			情報発信事業
9		テレビ電話				
9		LAN活用による注文				
9		家族へのお知らせサービス	今のところない			
9	配食サービス	弁当注文	配食サービス			

ワークショップ結果【福祉】10班

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
10	公園の充実	他の市町村から遊びに来る程の魅力のある公園がほしい	つつじの手入れ×遊具がそろっていない	四季の花を咲かせるように		総合公園計画
10		広大な土地を活かした遊具がたくさんある公園欲しいです	活用されていない	テーマパークを作る		
10		丸岡公園をもっと色々な事に使えばいいと思う				
10		子ども達が安心して遊ばせる事ができる公園が欲しい	道具がない	園児用の遊具（小規模）アスレチックを作る		
10		安い値段で食べたり飲んだりする場所があればいい！				
10	世代間交流	園児でも楽しめるイベントがあるとうれしい	年寄りしか集まらない	歌や踊りで元気がでる（園、学校が出向くような）		
10		お年寄りが元気に暮らせるスポーツなど楽しく←若者も		大人のイベントをする時に子供達が来て、交流が図れるようにする（子供達は地域で育てましょう）		
10		青年団員として他の保育園の子どもとも関わりたい				
10		歌や遊戯など、皆さんに見せてあげられるようなイベントがあるといいと思います。				
10	高齢者の見守り・介護	食事の面、年寄りの夕食だけでも配達して欲しい				高齢者福祉
10		夫の最期を自宅で見取りたい		お金を使わず、家で自然に		
10		高齢者を介護する人の負担の軽減				
10		高齢者を介護する人材の確保。安定した収入	介護職員の給与安い	街がバックアップしている施設		
10		体がだんだん動かなくなっている。運転免許証を返却したらどうしたらいいのか？	病院、買い物に行けない	福祉タクシー等の充実（無料）		
10		昼間の高齢者の孤立解消		生きがいを作る。健康な人たちの交流（つけもの講習等）		
10	コミュニケーションの場	毎日同じ人でなく違う人の話を聞いたら生きがいが出るのでは。				
10		子育て楽しんでます。保護者との話も大切。				
10		上手に他人の話をゆっくり聞く人になりたい。				
10		一人暮らしの家庭の話し相手				
10	夢と希望	子どもをかかえて働きやすい職場が増えるといいと思う				
10		趣味の範囲で食についてもっと学びたい				
10	買物環境を整える	24時間営業のコンビニ欲しいです				
10		買物しやすい仕組みを作って欲しい。店はJAしかない。				

ワークショップ結果【教育・人材育成】11班

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
11	体験を通じた人材育成	小・中学生のダンサーを育成				
11		子どもが人を助ける知識、技術を伝える	年2回（学校行事）学校別で指導	教育委員会に伝え消防士に指導してもらう	1年	
11		サッカー、フットサル、ビーチサッカー、ジュニアへ楽しさを伝えたい		指導者の選出	〃	
11		高齢者のダンサーを育成		〃	〃	
11		村民全員ダンスできるようにする		〃	〃	
11		村・発！アイドルユニット育成				
11		子ども救命士	村では行っていない球磨村、相良村はしている	教育委員会に伝え学校側に働きかける	1年	
11		子どもが楽しく学べる消防訓練	学校行事のみ	地域の活動に取り入れ、子供に参加してもらう	1年	
11		子どもに収穫体験をさせたい（とうもろこし丸かじり）				
11	村づくりの目標	救命率の高い村づくり			5年	
11	人材育成の為の環境整備	サッカー専用コートが欲しい	専用はない	指導者の選出	2年	
11		フットサルパークが欲しい	〃	〃	〃	
11		子どもが集まる所が欲しい				
11		ビーチサッカーコートの作成	ない	指導者の選出		
11		部活動廃止→スポーツできる場所をつくる				
11		ICTを活用した外国との交流を増やしてほしい	ほぼない			
11		ネイティブな英会話ができる環境づくり		教室を作る		
11	コミュニケーションの場	ダンス合宿として日本中の人を集める				
11		ダンスで世界中の人とつながる				
11	文化・継承・活用	万江川活用				
11		文化財の保護				
11		村内各地の行事の継承				
11		東浦うす太鼓踊り				
11		年中行事の探求記録				
11		経験豊かな地域の方の聞き取り				
11	人口増加	集落戸数減少地域の支援（応援）				地方創生
11		村民が増える家の提供				
11		子どもの人数を増やしたい				
11		村営住宅から村営住宅の移動を可能にしたい				

ワークショップ結果【教育・人材育成】12班(出席者なし)

班	キーワード	具体案	具体案の現状はどうなっているか	具体案を実現するには何から始めたらよいか	今から何年後の実現を目指したいか	キーワードに関連した行政の活動内容
12	地域での子ども	お友達を思いやれるような子どもへの声かけを知りたい(学校外で)				
12		子どもの笑顔がみたい				
12		学校内での素晴らしい子ども達を、学校外でも元気にさせたい				
12	元気な山江村	元気で楽しく過ごせる山江村				
12	これからの部活	部活動を活気づけたい				部会のあり方に関する準備委員会で検討中
12	真の心とは？	真の日本の心を持った人を育てたい				
12	文化継承を大切に	山江の文化を若い世代につなぎたい				
12		文化財の勉強をしたい(ほとんど知らないの)				
12		文化活動をできるように。合奏、合唱など。				
12	校歌の掘り起こし	廃校になった校歌の記録、音源化				
12	世代のつながり	小中の連携をもっと活気あるものにできないか？				
12		各地区での世代交替を大切にしたい				
12	世代を超えたコミュニケーションの場	子ども達が気軽に遊べる公園をつくりたい				
12		公園に子ども達がたくさん集まって遊べるような地域にしたい				
12	大人も子どももICT活用	子ども達が使っているタブレットを使ってみて、良さを実感したい				地域づくり研究所
12		子ども達はICT教育を受けているが、親、祖父母も勉強したい。				
12		タブレットを利用した生の教育。VRでなく。				
12	情操教育	小さい時から、本を読んでゆったり、自分で読んだりして情操教育を育みたい				
12		楽しいお話し会が続きますように				
12	学校の環境整備	登校坂にトイレがほしい				
12		学校の遊具、もっと増えないかなあ				

7. 村づくりの課題と主要事業案

ワークショップの結果から、農業・ブランド化、観光・文化、環境・防災、福祉の5分野について、山江村が今後進める村づくりの課題とそれぞれの事業を整理すると以下のようになる。これらは、山江村の住民が今後の村づくりに描いた自分達の夢や希望である。このような住民の思いを受け、実現の方向へ導くには、住民自らが参画して行動していくための動きやすい組織と一緒に考え行動する場が必要である。これを山江村地域づくり研究所が提供しサポートしていくことになる。

村づくりの課題と主要事業案

【農業・ブランド化】

村づくり課題	主要事業案
集落営農	後継者育成、荒廃地対策、農地水整備、鳥獣害対策、共同作業
地産地消	山江特産物販売、ネットショップ、漬物づくり等の人材掘り起こし、グリーン農業、食卓自給率
やまえ栗ブランド	栗反収増、栗の直売所、栗の新商品開発、栗の6次産業化、やまえ栗の海外進出

【観光・文化】

村づくり課題	主要事業案
観光・交流	フットパス、丸岡公園、温泉センター、清流万江川、キャンプ場、ヤマメ釣り、ホテル、ボンバス活用、願掛け巡り、空家活用
食の提供	うどん・そば・カレー・栗パフェ・パン等の出店、名産品づくり、地域の商店
情報発信	観光アピール、各分野の情報サイト、観光マップの作成、文化財等地域の掘り起こし、ICT活用

【環境・防災】

村づくり課題	主要事業案
森林・環境	森林公園、部落公園、森林保全管理、林業後継者育成、鳥獣害対策、レジャー、エネルギー対策
防災	消防団員の増員、災害対策、防災マニュアル、災害時のう回路

【福祉】

村づくり課題	主要事業案
高齢者サポート	見守り、買物・通院支援、地域の縁側、茶話会、配食サービス
子育て交流	子育てサロン、子ども公園、世代間交流、子ども食堂、障がい児支援、情報通信活用

【教育・人材育成】

村づくり課題	主要事業案
健康・スポーツ	小・中学生のダンサー育成、サッカー、子ども救命士、消防訓練
文化・教育	誰もが学べる ICT、情操教育、地域の文化・継承、コミュニケーション

8. 分野別村づくり検討会

これまでのワークショップの結果をもとに、以下の日程で5分野ごとに今後の村づくりの進め方を検討した。

その結果、村づくり課題と主要事業案から9つの部会を立ち上げ、各部会ごとに住民が参画して村づくりを進めて行くこと、またこれを進めるために、各部会に部会長及び書記を置き、部会の横の連携をとりながら村づくりを進めて行くことが決まった。

(1) 分野別村づくり検討会の日程

農業・ブランド化	6月29日(水)	山江村農村環境改善センター
観光・文化	7月1日(金)	山江村農村環境改善センター
環境・防災	7月4日(月)	山江村農村環境改善センター
福祉	7月6日(水)	山江村農村環境改善センター
教育・人材育成	7月8日(金)	山江村農村環境改善センター



農業・ブランド化 (6/29)



観光・文化 (7/1)



環境・防災 (7/4)



福祉 (7/6)



教育・人材育成 (7/8)

(2) 9つの村づくり部会と主な活動内容（案）

部会名	主な活動内容（案）
①集落営農・地産地消部会	<p>（集落営農関係） 後継者育成、荒廃地対策、農地水整備、鳥獣害対策、共同作業 （地産地消関係） 山江特産物販売、ネットショップ、漬物づくり等の人材掘り起こし、グリーン農業、食卓自給率</p>
③やまえ栗ブランド部会	<p>栗反収増、栗の直売所、栗の新商品開発、栗の6次産業化、やまえ栗の海外進出</p>
④観光・交流部会	<p>フットパス、丸岡公園、温泉センター、清流万江川、キャンプ場、ヤマメ釣り、ホテル、ボンバス活用、願掛け巡り、空家活用</p>
⑤食の提供部会	<p>うどん・そば・カレー・栗パフェ・パン等の出店、名産品づくり、地域の商店</p>
⑥情報発信部会	<p>観光アピール、各分野の情報サイト、観光マップの作成、文化財等地域の掘り起こし、ICT活用</p>
⑦環境・防災部会	<p>（森林・環境関係） 森林公園、部落公園、森林保全管理、林業後継者育成、鳥獣害対策、レジャー、エネルギー対策 （防災関係） 消防団員の増員、災害対策、防災マニュアル、災害時のう回路</p>
⑧福祉部会	<p>（高齢者サポート関係） 見守り、買物・通院支援、地域の縁側、茶話会、配食サービス （子育て交流関係） 子育てサロン、子ども公園、世代間交流、子ども食堂、障がい児支援、情報通信活用</p>
⑨健康・スポーツ部会	<p>小・中学生のダンサー育成、サッカー、子ども救命士、消防訓練</p>
⑩文化・教育部会	<p>誰もが学べるICT、情操教育、地域の文化・継承、コミュニケーション</p>

9. 村づくり部会長及び書記の決定

新たに発足した9つの村づくり部会の全体交流会を8月6日（土）に開催し、各部会ごとに部会長及び書記を選出し、今後は各部会長のもとで村づくりに取り組むこととした。また、各部会の進捗状況を部会長及び書記の合同の打合せ会議（8月18日開催）で確認していくことも併せて決まった。（会場：山江温泉ほたる）

村づくり部会長及び書記一覧

部会名	部会長	書記
①集落営農・地産地消部会	又村 元規	秋丸 大輔
②やまえ栗ブランド部会	久保田 武久	田山 雄貴
③観光・交流部会	田村 四郎	中竹 浩之
④食の提供部会	山北 早織	尾方 恵美
⑤情報発信部会	山本 浩己	藤本 一彦
⑥環境・防災部会	横山 浩之	山本 征治
⑦福祉部会	川内 孝之	深水 久美子
⑧健康・スポーツ部会	谷川 正晃	藤田 雄哉
⑨文化・教育部会	横山 理恵	吉川 和子

敬称略



村づくり部会全体交流会（8/6）
会場：山江温泉ほたる



村づくり部会長及び書記会議（8/18）
会場：山江村役場大会議室

10. 若手の会

山江村が目指す村づくりを進めていくには、村内の20代、30代の若者がそれぞれに活躍でき、彼等の夢の実現を支えていくような環境づくりが必要である。このため、今回の村づくり事業を契機として、若手による交流会を開催し、それぞれの夢や希望を語り合う機会を設けた。

今回は男性のみであったが、今後は女性も加わり若い彼等の思いを取り込み、彼等自身もまた自らが研鑽しながら村づくりを進めていけるよう育てていくことが重要である。

若手の会交流会参加者名簿一覧

上村 憲弘	谷口 博一	桐木 康弘
藤田 雄哉	赤坂 祐輔	桐木 隆史
岡本 翔太	田村 俊二	村坂 佳大
松本 聖司	山北 高也	田山 雄貴
秋丸 大輔	中竹 浩之	

敬称略

11. ある日の山江村プロジェクト

山江村の目指す村づくりを進めるためには、山江村の政策について住民にできる限りわかりやすく伝え、その上で住民と協同で政策を実現させることが必要である。このため、政策とそれが実現した時の村の姿を、漫画やイラストを用いて描き（ある日の山江村）、政策内容をビジュアルに表現した冊子を作成した。

製作にあたっては、デザインに造詣のある村内の若者2人（中竹浩之氏、岩崎清佳氏）を中心にプロジェクトを進めた。



ある日の山江村プロジェクト（1/31）

Ⅱ. 山江村未来塾 100 人委員会運営支援業務

1. 山江村未来塾 100 人委員会運営支援業務

村民自らが参画し自らの夢と希望の実現に向けて行動する、9つの「村づくり部会」の運営及び部会ごとの村づくり方向と具体的活動に関する助言を行い、山江村が進める住民主体の地域づくりを支援する。

2. 経緯一覧

<平成 28 年>

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 9月1日(木) | 環境・防災部会(第1回)
文化・教育部会(第1回) |
| 9月7日(水) | 集落営農・地産地消部会(第1回) |
| 9月8日(木) | 観光・交流部会(第1回)
食の提供部会(第1回) |
| 9月9日(金) | 健康・スポーツ部会(第1回懇親会) |
| 9月10日(土) | 福祉部会(第1回) |
| 9月13日(火) | 文化・教育部会(第2回) |
| 9月15日(木) | 情報発信部会(第1回) |
| 10月2日(日) | 観光・交流部会(第2回村内視察) |
| 10月4日(火) | 文化・教育部会(第3回) |
| 10月8日(土) | 福祉部会(第2回) |
| 10月28日(金) | やまえ栗ブランド部会(第1回) |
| 10月29日(土) | 食の提供部会(第2回懇親会) |
| 11月2日(水) | 健康・スポーツ部会(第2回) |
| 11月12日(土) | 福祉部会(第3回) |
| 11月14日(月) | 情報発信部会(第2回) |
| 11月15日(火) | 文化・教育部会(第4回) |
| 12月3日(土) | 村づくり部会長・書記 中間状況報告会(懇親会) |

12月13日(火) 文化・教育部会(第5回)

<平成29年>

1月18日(水) 文化・教育部会(第6回)

1月21日(土) 観光・交流部会(第3回懇親会)

1月23日(月) 情報発信部会(第3回)

1月24日(火) 健康・スポーツ部会(第3回)

1月27日(金) 食の提供部会(第3回)

2月11日(土) 福祉部会(第4回懇親会)

2月17日(金) 健康・スポーツ部会(第4回懇親会)

2月21日(火) 食の提供部会(第4回)

2月22日(水) 文化・教育部会(第7回)

3月1日(水) 集落営農・地産地消部会(若手)(第2回)

3月2日(木) 環境・防災部会(第2回)

3月11日(土) 福祉部会(第5回)

3月16日(木) 文化・教育部会(第8回)

3月21日(火) 食の提供部会(第5回)

3月21日(火) 情報発信部会(第4回)

3月23日(木) 集落営農・地産地消部会(若手)(第3回)

3月28日(火) やまえ栗ブランド部会(第2回)

3. 部会別村づくり活動の方向

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・集落営農を進めるため、地域ごとにやりたい人の掘り起こしをやっていく必要がある。
- ・集落営農では、井出ごとに進めた方が無駄が省ける。
- ・空き家を活用し、家と田んぼを含めて他県から農業をしたい人を呼び込む。
- ・地産地消を進めるには、山江村の野菜工場や新たな物産館が必要ではないか。
- ・鳥獣害対策の強化、若手農業者への技術指導が必要である。

【活動の方向】

- ・農業者への様々な補助・支援制度をまとめた情報サイトの構築
- ・若手農業者同士で共同で作物を栽培していきたい。
- ・専門家の指導による土壌試験や農業技術研修への参加。



①集落営農・地産地消部会
9月7日（水）

部会（核メンバー）

部会長	又村元規
書記	秋丸大輔
	上村憲弘
	秋丸安弘
	加賀徹
	勝本フミカ
	桐木隆史
	小林貞人
	椎葉 繁
	中村賀津男
	西 孝恒
	松本聖司
	村坂佳大
	森田俊介
	藤野三千男

実施日：

第1回 9月7日 第2回 3月1日 第3回 3月23日

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・ブランド化に向けて、「作り方」「売り方」「技術指導の必要性」「栗の認定農家」「生産台帳」などをもとにした、栗生産農家同士の研鑽が必要である。
- ・その他、「栗の販売所・売り方」「観光栗園」「甘露煮の講習会」「栗の皮活用」「特A栗」「栗のモデル農家の表彰」等について検討する。

【活動の方向】

- ・剪定した栗の木の活用方法の検討。
- ・栗生産農家同士の具体的な研鑽方法の検討。
- ・観光栗園及びワークシェアリングの検討。
- ・「栗栽培マニュアル（栗の育て方）」の作成。
- ・栗祭りに「ぼろたん」を出品して、やまえ栗をPRする。



②やまえ栗ブランド部会
10月28日（金）

部会（核メンバー）

部会長	久保田武久
書記	田山雄貴
	勝原星四郎
	城山幸一郎（栄子）
	豊永 高希
	中竹隆博
	原先利且
	藤本忠男

実施日：

第1回 10月28日 第2回 3月28日

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・山江村の自然、温泉、文化財、農産物等を活用した観光が重要。
- ・具体的には、「季節ごとの収穫体験」「農業公園」「ボンネットバス周遊」「万江川の活用」「フットパス」「国指定有形文化財の活用」等が考えられる。
- ・第2回は、ボンネットバスで「願掛け巡りコース」を中心に村内を視察し、具体案の参考にした。

【活動の方向】

- ・ボンネットバスを活用した観光の検討。
- ・山江村内観光ガイドの育成。



③観光・交流部会
9月8日（木）

部会（核メンバー）

部会長	田村四郎
書記	中竹浩之
	赤坂 修
	岩崎和夫
	大山澄夫
	尾方えりか
	杉松 章一
	中竹幸利
	西 純生
	東 照也
	村 良男
	横谷 俊治

実施日：

第1回 9月8日 第2回 10月2日

食の提供部会

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・ 山江にこだわった「食の開発」の必要性和「軽トラ市」の開催によって、「食」を提供したい。
- ・ 特に、山江村でしか味わえないもの、山江らしさにこだわって開発することが必要である。
- ・ 朝市の出展者を増やして、年に2回は開催したい。

【活動の方向】

- ・ 朝市（軽トラ市）を、まず4月23日（土）に「時代の駅前広場」で開催し、今後の定着を図る。



④食の提供部会
9月8日（木）

部会（核メンバー）

部会長	山北 早織
書記	尾方 恵美
	椎葉 友子
	杉松 豊子
	豊永 愛子
	藤田義治
	前田 紀子
	村内 京子
	本山民子
	山田 弥子
	吉村 豊子

実施日：

第1回 9月8日 第2回 10月29日 第3回 1月27日
第4回 2月21日 第5回 3月21日

情報発信部会

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・他の村づくり部会の情報発信プラットフォームの役割づくり、特に「観光・交流部会」とのリンクが必要である。
- ・360°カメラを活用した「山江村の文化財」や「観光情報」の他、山江村への移住希望者への情報提供等も必要と思う。
- ・現在の山江村の情報発信手段を検討し、「山江村PRビデオ」を作成していく。

【活動の方向】

- ・新たな山江村の情報発信のためのPRビデオを作成する。

部会（核メンバー）

部会長	山本浩己
書記	藤本一彦
	岩崎清佳
	勝原秀之
	中竹耕一郎
	松本佳久
	吉川 浩

実施日：

第1回 9月15日 第2回 11月14日 第3回 1月23日
第4回 3月21日



⑤情報発信部会
9月15日（木）

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・村内の遊休地調査による土地の有効活用、山林や川の活用、総合公園のあり方など幅広い意見があった。
- ・企業誘致や住宅用地開発、太陽光発電所の誘致等の産業経済や、人口増対策などについて意見交換があった。

【活動の方向】

- ・山田川を活用した遊水場の整備（川遊び）、森でのスラックラインを検討する。
- ・行政と連携した既存施設の環境美化



⑥環境・防災部会
9月1日（木）

部会（核メンバー）

部会長	横山浩之
書記	山本征治
	穴見 和光
	岩本良一
	勝山清己
	杉松 悟
	立道 徹
	谷口予志之
	田原龍太郎
	日熊 正守
	前田裕久雄
	鏡山和人
	嶽森 昇
	山口 美敏

実施日：

第1回 9月1日 第2回 3月2日

福祉部会

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・子育て支援について、人吉のように一か所ではなく、健康の駅など既存の施設を利用し、曜日毎に内容を整えて、情報を一元化したうえで活用してはどうか。
- ・「まるおか号」について、現在役場で来年の4月に向けて活用方法等の見直しが行われていることから、その後使い方をさらに検討したい。
- ・高齢者の活躍の場を作りたい。

【活動の方向】

- ・高齢者が楽しく元気に働ける加工場を作る。



⑦福祉部会
10月8日（土）

部会（核メンバー）

部会長	川内孝之
書記	深水久美子
	秋丸光明
	三川時則
	城子サダ子
	嶽本雄一
	谷山晴夫
	豊永紀子
	東 亜里沙
	藤本勇夫
	湊田和代
	山下三和

実施日：

第1回 9月10日 第2回 10月8日 第3回 11月12日
第4回 2月11日 第5回 3月11日

健康・スポーツ部会

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・ケーブルTVを活用した健康・救命指導や、ビーチサッカー誘致を目標とした田んぼサッカーなど、具体的な活動を通して、健康・スポーツを広めていきたい。
- ・「将来的に丸岡公園にビーチサッカーコート」「体育館2階スペースの活用」「ケーブルTVを活用した救急法やダンス」「室内遊具施設」等が考えられる。

【活動の方向】

- ・CATVを活用した心肺蘇生法ビデオの作成。

部会（核メンバー）

部会長	谷川 正晃
書記	藤田 雄哉
	岡本翔太
	杉松孝亮
	谷口 博一
	松本 聖司

実施日：

第1回 9月9日 第2回 11月2日 第3回 1月24日
第4回 2月17日



⑧健康・スポーツ部会
11月2日（水）

村づくり活動の方向

【主要な提案・課題】

- ・地域の文化財・行事・祭事を大事にしたい、文化財の案内板の設置、文化遺産に関する講話受講、ICT 活用など多彩な意見があった。
- ・山江村の地域に残る昔話を調査し、絵本にしたいという方向でまとめ、メンバーが分かれて聞き取りをすることが決まった。
- ・村内の花まつりに関する聞き取り調査の実施する。
- ・花まつりの絵本のストーリーを考える。

【活動の方向】

- ・山江村の「花まつり」を題材にした絵本づくり。

部会（核メンバー）

部会長	横山理恵
書記	吉川和子
	田山レイ
	立石アサエ
	坂田妃美
	郡 眞聖
	内山三也子
	犬童美津子



⑨文化・教育部会
9月13日（火）

実施日：

- 第1回 9月1日 第2回 9月13日 第3回 10月4日
 第4回 11月15日 第5回 12月13日 第6回 1月18日
 第7回 2月22日 第8回 3月16日

部会の活動記録（資料）

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p> <hr/> <p>参考: ワークショップでの主な活動内容 (案)</p> <p>(集落営農関係) 後継者育成、荒廃地対策、農地水整備、鳥獣害対策、共同作業</p> <p>(地産地消関係) 山江特産物販売、ネットショップ、漬物づくり等の人材掘り起こし、グリーン農業、食卓自給率</p>
<p>内容 (記録)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が農業をしていく環境を作るで、農作物の作り方などの技術の共有をしたほうがいい。 ・学校給食関係者が、出来れば山江村の野菜を使いたいので、山江村で農業をしている人が何の野菜を作っているのかが知りたい。 ・山江村にも、野菜の加工場を作してほしい。 ・鳥獣害対策は、水上村みたいに、山ごとにフェンスを張ったほうがいいのではないかな。 ・農作物を動物にやられるのがきついで、フェンスをするのに全額でなくても補助があれば助かる。 ・物産館をつくり山江産の品物を売るようにしたい。(山江でなくても人通りのある所に) 山江にも物産館はあるが、品物も品数も少ない。観光客も少ない。 山江にはせっかく山江栗があるから、その名を使って。 インターの近くに建てられたら、人吉の青井神社で今他県からの観光客が多くなっているから良いのではないかな。 (七城のメロンドームのように) ・山江の特産物ではなくて、山江の農産物で売ったほうが良いのではないかな。 ・卵の自動販売機のような野菜の販売機みたいな物をつくってみる。 ・集落営農をするのに、各地域から誰かがやりたいと言う人を掘り起こす。 ・集落営農をするうえで、井出ごとした方が無駄がはぶけるのではないかな。 ・人手不足が悩み。 ・田んぼは米があるが、畑も活用していきたい。 ・空き家を活用して、家・田んぼ等をあてつがて他県から農業をしたい人を呼び込む。
<p>次回の内容</p>	

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について</p>	
<p>内容 (記録)</p>	<p>出席者名： 秋丸大輔、上村憲弘、桐木隆史、村坂佳大、松本聖司 記録：佐藤</p>	<p>計 5 人</p>
<p>次回の内容・日時</p>	<p>3月23日（木）19:00～ 場所（未定）</p>	

佐藤より、これまでの部会の経緯を説明（略）。本日の会議は若手農業者による意見交換の場を設けた。このことについては、又村部会長も了承しており、今日の会議の内容は、後日、佐藤から部会長へ報告する。

【意見交換】

- ・万江地区では、農業者の若手は自分1人なので、このような若手の会合はとてうれしい。意見を出し合って、やれることがあればできたら一緒にやりたい。
- ・地産地消というより内山村長が地産地消と言っておられた。野菜を作っても売り手が無いとだめなので、例えば学校給食で使う野菜の中身が前もってわかると作っていく。
- ・学校給食は、冷凍食品も使う。元気村でも冷蔵施設が計画されているが、これができると、山江産の野菜を加工にも向けられる。
- ・ハウス1つにしても、補助が無いとできない。よその事例だが、パナソニックが連棟ハウス（1ブース5反）の大規模な施設でホウレンソウに取り組んでいる。
- ・ホウレンソウは10月に不足している。皆で作って元気村に持ち込むなど計画栽培をやってみるのもいい。
- ・3,000万のハウスで9割補助でも自己資金が300万必要になる。補助は必要なので、若手が農業に取り組む際の補助や様々な制度についての行政からの情報がほしい。（4月以降に、行政から担当者を交えて、どのような情報がほしいかについてアイデアを出し、情報サイトを作っていく）
- ・もち米を製菓へ出したり、米を焼酎、日本酒にしたり、いろんな人とのつながりを通して仕事をしていきたい。
- ・山江の若手は5～6人なので、何かみんなでやっていたら楽しさも増えると思う。
- ・次回からの若手の集まりについて、松本聖司氏がまとめ役になって始めていくこととする。

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について</p>	
<p>内容 (記録)</p>	<p>出席者名： 秋丸大輔、上村憲弘、桐木隆史、村坂佳大、松本聖司 記録：佐藤、川口</p>	<p>計 5 人</p>
<p>次回の内容・日時</p>	<p>(未)</p>	

【今後の記録について】

- ・集まって話し合う度に、記録者を決め、できるだけ要領よく決まったことなどを記録していく。
- ・この場合、ライン（ノート形式で修正できる）でみんなに回して確認していく。

【前回 3/1 の会議を踏まえて】

- ・今日は自分が今思っていることや、これからみんなでやるとしたらどんなことができそうかについて話してみよう。

【以下、自由意見】

- ・電柵は、今何軒かでまとめてやっているが、シカが来るので山際をぐるっと囲んでやったらどうか。
- ・「農地・水」の事業で、半日 2,000 円くらいだが、溝さらいをやったりしている。この場合、ミニコンボを借りる。コンボを扱うには免許がいるが、コンボの貸し出しはできないか。
- ・WCS は、4 月に植えて 8 月にとれる。この後作にゴボウは 1 月くらいからできる。水田ゴボウは、3 反で 24 本（畝）くらい、1 本で 2～3 万とれる。
- ・球磨畜産共同組合の球磨牛改良部会青年部で、3 月 8～9 日に福岡と佐賀の研修に参加したが、すごく勉強になった。子牛の鏡りや 10 頭～20 頭を飼っている若手農家の話など、ためになったので今後はこんな研修をもっとやりたい。
- ・ミシマサイコ（薬草）はツムラとの契約栽培になるが、みんなで 1 反くらい場所を決めて作ってみるのもいいかもしれない。2 月末～3 月初めにやり始めて 11 月に刈り取り 2 月と 4 月に出荷になる。
- ・若手で休耕地を借りてやってみるのもいいかもしれない。
- ・この会に右田慎也も入れたいね。
- ・「土づくり」の勉強をしたい。親から色々教えてもらっているが、やはりもっと科学的な部分もわかって農業をやる必要がある。例えば、pH の値が違えば、実際、作物づくりにどう違ってくるかなど。
- ・専門家を招いて「試験ほ場」を決めて、みんなと一緒に勉強してみたい。

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>参考：ワークショップでの主な活動内容 (案) 栗反収増、栗の直売所、栗の新商品開発、栗の6次産業化、やまえ栗の海外進出</p> <p>参加者氏名： 久保田武久、勝原星四郎、豊永高希、中竹隆博、原先利且、城山栄子 記録：地域総研 佐藤</p> <p>(久保田部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 山江栗のブランド化を進めるには、問題も多くあるが、皆さんから知恵を出し合っていきたい。 栗の増収は頑張ればできるかもしれないが、増反は難しい。現在の面積を維持するのが大事だと思う。 鳥獣防止ネットの申し込み希望者は、補助が9割あることもあって申し込みが多い。対策を続けてもらいたい。 <p>【栗農家の問題点】</p> <p>①高齢化 ②有害鳥獣 ③生産意欲の低下、の3点に集約される。③つ目は、一生懸命やる人と意欲のない人とは大きく分かれている現状だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 増反は難しいが、増収は、仮に反(10a)当たり現状の40本を80本を目標に植えると増収になる。現状の100kg~150kg/反を、頑張って長野県の200kg/反にしていこう。 このためには、肥料、剪定、改植などの管理が不可欠だ。 <p>【栗の販売所・売り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で野菜や栗の直売をやると、朝人吉の人が散歩がてらに買う。他の所もよく知っているのだから、品揃えや値付けなど手間が要る。栗は300円から500円/kgと安くするが山江栗を知っているのだからすぐ売れてしまう。 栗の直売所は、やはり人通りの多い所でないと無理。球磨村毎床の一勝地梨のように国道沿いのスーパー前で売ると別だが。 山江栗はJAも最近は球磨栗と別に扱ってくれるようになった。普通に地元で売ってしまうと他の球磨栗と同じようになってしまう。 例えば、東京の「日本百貨店」などと契約して、山江栗を特別に売るなど売り方を工夫するのも面白いと思う。(但し、送料を上乘せした価格設定となる) <p>【山江栗認定農家】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブランド化を進めるなら、「規格品質管理」「栽培方法の統一」など独自の基準を設定して山江栗の認定農家を指定していく必要があると思う。 栗の検定に、1項目当たり2万円かかるということだが、仮に10項目で20万円かかっても将来をみると安いものじゃないかと思う。 栗の保冷庫で青果のまま1℃で3か月保冷すると糖度が3倍になる。普通の栗の糖度で7~8度だが、保冷して糖度の高い山江栗で売るのがいい。 <p>【観光栗園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栗の収穫期に観光栗園をやるのは忙しく出来ないのではないかな。 そうでもない。2~3人で来られると上がりがないが、反当たり20人ぐらいは大丈夫。来る日が2週間くらい前に予約があれば準備できる。「入園料」をもらいお土産に採れた分を上げるといいと思う。栗祭りの前、お彼岸に「20人/反+入園料+お土産」でいいと思う。 福岡のメンタイコ「やまや」から、新入社員の研修で栗拾い体験の話があった。小学校の体験学習以外にも、企業研修もある。 <p>【やまえ栗の箱】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回作ってもらったやまえ栗の箱「大」「小」は大いに役立っている。山江栗を広く知らせるにも良いと思う。 <p>【甘露煮の講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 甘露煮は、実は作り方が一番難しい。「脱気処理」しないと煮ると栗が割れてしまう。割れるので、たいてい「渋皮煮」を作っている。 技術講師には、例えば神戸風月堂専務の椎葉さんがいいかも。 メンバーの中竹さん(やまえ堂)も指導できるんじゃないかな。

	<p>【栗農家の生産台帳作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の底上げをしていくためにも、まずきちっとした栗の台帳を作って、生産者と農地、生産履歴がわかるようにする必要がある。 ・その上で、技術指導や改植等の生産管理をしていくといい。 <p>【栗の皮活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗の皮の有益な活用も検討していく。 ・以前、再春館製菓に話を持ち掛けたが 200t 必要と言われた。(規模が大きすぎる) ・あさぎり町では、皮を豚(栗豚)の飼料にまわしている。牛もいいかも。 <p>【特 A の栗】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家からいい栗を作ってもらい、特 A は 1,000 円/kg で農家から買いたい。 <p>【栗のモデル農家の表彰】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の意欲を引き上げるためにも、84 歳で現役で頑張っている秋丸善秋さんを表彰する。「新人賞」も含めて「栗祭り」でやったらどうか。 ・最近、農家の子どもや孫が、栗を持ってやまえ堂に来るようになった。結構栗はいい稼ぎにもなる。「年金より良か仕事」みたいに栗のキャッチコピーを出して、意欲を高めていこう。
<p>次回の内容</p>	<p>11 月末頃</p>

やまえ栗ブランド部会（久保田武久部会長）

書記（田山雄貴）

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (初会合 (H28.10.28) を踏まえて)</p>	
<p>内容 (記録)</p>	<p>(久保田部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> やまえ栗のブランド化については、①品質を守ること ②栽培管理 ③後継者問題 が大事と思う。色々な会があつて重なるところも多いが、基本は一緒というところで、この3点あたりから話し合つて決めていきたい。 <p>【品質管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブランドにするには栽培基準をつくつて、やまえ栗認定農家を決めていい栗をつくってもらうことだ。 栗は栽培農家によって品質の格差があり、市場からクレームもあるので、しっかり管理の仕組みをつくる必要がある。 若い人には、座学から始めていくような後継者づくりも必要だ。苗植、肥料、剪定の3つをきちつとやることを指導する受皿づくりがいる。 収量を増やすには、ある程度品種を絞ることも考えていくことになる。 品質管理は個人でやると難しいので、よそでやっているような水選果（水に浮いた栗を除いていくやり方）になるかも。 個人の栗を、センサーでやればより効果がある。日ノ影町や菊池では、センサーを導入して個人々が選別をしている。山江村も村内に選果場があつてほしい。 物産館には、持って来た栗にいい物とそうでない物がやはりある。それぞれ品質をみて値段も違えて売っているが、そんなふうに品質が一つ落ちるとブランド化は難しい。 モデル農家の研修を増やすなど、生産農家自体が勉強していくことが大事だ。 村では、やまえ栗のラベル（ロゴ）や生産履歴のラベルなどの他、栗祭り品評会でチャンピオンシールなどがあるが、それだけでは駄目で、全員で品質を上げる仕組みが必要だ。 山江栗と球磨栗は、分けて出してもJ Aの値段は一緒なら利益がない。山江の栗はプラス5点ぐらい上げてもらいたい、それだけの努力もいる。 <p>【分析・検査】</p> <ul style="list-style-type: none"> やまえ栗の品質について、他の栗との違いを公的に調べて表示する必要がある。1項目で2万円くらいということだが、これは大事なことなので、必要な項目を検査に出してもらいたい。 米田さんこのナシはものすごくまい。これはやはり土壌が関係していると思う。土壌試験もいるんじゃないか。 土壌もだが、気象条件も重なってくるので、やはりとれた生果の検査でいいと思う。 栗ワーキンググループでは、色見、甘み、場所などで調べようとしている。 消費者はやまえ栗の大きさにまず驚く。それから甘いということ。だから検査はまず糖度からでもいいか。 <p>【剪定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今、10人の剪定班があるが、あと10人くらい増やして、例えば面積でいくらというように決めて行政でやっつけてほしい。 シルバー人材センターで粉碎機を購入したようなので、今後は剪定班と一緒に、シルバーで粉碎してもらえ。 <p>【後継者づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今のうちに、子どもや孫に栗ひろいなどを一緒に体験させることが大事。 自分もそうやって知らない間に、接ぎ木の仕方などを覚えさせられたと思う。 <p>【木工品づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栗の木を使って、大きいものだとテーブル、イス、小物だとスプーンなどの食器なんかを誰か作れないか。（木工だと深山さん、まつのべさん、熊手だとツルタさん） 合戦ノ峰の神社に奉納する絵馬もあると思う。 やまえ栗の付加価値づくりの一環で、栗の村としてのPRにもつながる。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 色々話し合ったが、次回からは次の2点で考えていきたい。 ①栗栽培の具体的なポイントを押さえた「栗栽培マニュアル（栗の育て方）」を作つて、栗栽培の技術をみんなで共有していく。 ②栗祭りに、「ほろたん」を自分達で作つて、お客さんに実際に食べてもらつてやまえ栗のPRにつなげる。 	<p>計 5人</p>
<p>次回の内容 ・日時</p>	<p>4月20日（木）19：00～</p>	

観光・交流部会（田村四郎部会長）

書記（中竹浩之）

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p>
	<p>参考：ワークショップでの主な活動内容（案） フットパス、丸岡公園、温泉センター、清流万江川、キャンプ場、ヤマメ釣り、ホテル、ボンバス活用、願掛け 巡り、空家活用</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>*観光・交流部会会合は月初めに1回のペースで執り行う。（毎月10日前後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎季節的に開催しやすい『収穫体験』・・・栗、梨、芋、等。 ◎自然を活かした公園（農業公園） ◎ボンネットバスの起動（周回させる） ◎万江川清流の資源活用（外国人観光客からの称賛の声） ◎村内のホテルの育成状況や繁殖状況の現状把握 ◎焼酎『玉道楽土』（村内生産の黄金千貫を使用）の試飲・販売の徹底 ◎山江村観光案内人の育成 ◎観光案内の看板の不足 ◎山江サービスエリア付近の管理（S.A 内設置の“東屋”からの景観の見直し ◎*S.A 内での生産者直接販売の活性化・・・例）朝市のような雰囲気作り ◎フットパス開催時の夕方～夜間にかけてのイベントの思考（ホテル・宿泊プラン等） ◎花・植物等の観覧（オープンガーデンのような） ◎国指定有形文化財の観光活用（村内に8件） ◎肝試し（60代～70代の方々の昔の経験談） ◎丸岡公園の見晴台の活用 ◎山江温泉はたるの詳細ホームページ（特設HP） ◎夏の夜の星空を使った観光プラン <p>*まとめ*</p> <p>数年前に開催された『山江グリーンツーリズム』の報告、開催結果等の話しを多く聞いた。 *万江川清流関連のイベントに人気があった。 *菜の花祭りの開催 集客の方法・・・新聞・広告⇒行政が執り行う。</p> <p>*観光・交流部会の現メンバーの経験の話が過去の記憶の点が多かったため、上に挙げた事例（観光資源）にあたっては実際に現状を見に行ってみようと言うことで見学ツアーを実施することに。</p> <p>期日 10月2日（日曜日）am 9時 役場集合 内容 ボンネットバスを使い、終日、 村内の観光資源の現状を見学する</p>
<p>次回の内容</p>	<p>部会メンバーで観光資源の現状把握・討論</p>

主題 (テーマ)	1. 部会の活動について (初会合 (H28.9.10) を踏まえて)	
	出席者名 田村四郎、中竹浩之、岩崎和夫、大山澄夫、杉松章一、中竹幸利、東照也	計 7人

内容 (記録)	記録・写真 地域総研 佐藤和弘 (1) 村内視察ルート	
		

(2) 視察の様子 (抜粋)



次回の内容・日時	次回までに、観光・交流のアイデアを各自考えておくこと。(田村四郎) 11月頃、次回開催予定。	
----------	---	--

食の提供部会 (山北早織部会長)

書記 (尾方恵美)

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>参考: ワークショップでの主な活動内容 (案) うどん、そば、カレー、栗パフェ、パン、名産品、地域の商店、お接待</p> <p>参加者: 山北・本山・杉松・椎葉・前田・豊永 (新)・吉村 (新)・尾方</p> <p>自己紹介の後話し合いに入りました。 あまりにも漠然としすぎて何をどうしていいのかわからないので、何をやりたいのかを上げてみました。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 催事 (出店)・栗まつり・産業祭へ参加 → 今年は時間がないので見送る * やまえ栗の販売所の設置 * お料理教室 (季節に応じて) * 栗菓子・栗料理の開発 * しいたけ・米の商品開発 * マコモダケの商品開発 * 米ぬかの商品開発 * えごまの商品開発 (南雲先生の料理教室・腹が減ったら米を食え) * 草・身近な雑草 (食べられないと思っている) の使い道 (薬草博士に教えていただく) * 万江・藤田商店のカフェの活性化 * 観光ルートの開発 (例: 時代の駅周辺) * 無人販売所 (機械を導入しては・・・) * 軽トラ市 (元ゆっくり山田店駐車場にて月 1 回程度で) * パーフクトおにぎりの商品化・販売 * 四季ごとの催事 (漬物名人・料理名人はいても販売する機会・場所がない) * やまえ食材のブランド化 * ピンクの料理開発? (ピンク色は幸せの色?) * 淡島神社の行事に参加しての販売・催事 <ul style="list-style-type: none"> * 淡島梅干しを使った饅頭の開発 * 梅干しを使った料理の開発 * 女性が美しくなるための料理の開発・料理教室 * 米ぬか美の研究 <p>決定したのは 軽トラ市をやってみる</p> <ul style="list-style-type: none"> * 第 1 回目は盛大に * イスミの朝市のない日 (コストコがある日) に日程を設定する。 * 山江村でしか味わえないものの出品 * 農家さんに声掛けして B 級品 (キズものなど) の販売 * 朝食のバイキングを限定で提供: 時代の駅 <p>次回の会合は 日時: 10月29日19時から 場所: 時代の駅にて女子会 会費: 2000円 (掛かった経費を参加人数で割る) 新規に参加者を募るよう各自で動く</p>
<p>次回の内容</p>	

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>朝市開催に向けての打ち合わせ</p> <hr/> <p>参加者：山北・杉松・本山・前田・椎葉・豊永・吉村・尾方（佐藤様・川口様）</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>日時：4月23日（第4日曜日）前の週4/16はつつじ祭り 時間：8：00～10：00まで（12時には撤収解散） 場所：時代の駅前広場・JA駐車場？（雨天時畜産センター） 駐車場：畜産センター 稲留商店横 JA駐車場 コインランドリー前 朝市の名称：トキの朝市（ドキドキワクワク・ピンク色のイメージ） 参加者の手数料：1件につき500円 複数人数で出店する場合も同額 参加者：吉田・杉松・蕨野・山北・小西・橋口・田村 出店品：山菜・野菜・花・玉子・漬物・果物・ハンドメイド物</p> <p>次回会議：2/21（火曜日）19：00～ 地域研究所</p>
<p>次回の内容</p>	

食の提供部会 (山北早織部会長)

書記 (尾方恵美)

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>朝市開催に向けての打ち合わせ</p> <hr/> <p>参加者 : 山北・杉松・本山・前田・山田・尾方 (佐藤様・川口様)</p>
<p>トキの朝市 打ち合わせ 2 回目</p>	<p>チラシ広告 : 川口氏の提案してくださったサンプルをもとに *手書きで *手作り感を出して *4 月第 1 週目に確認・校正</p> <p>朝ごはんの内容 : 時代の駅朝ごはんセット *50 食限定 *400 円 *内容は 玉子かけごはん (大塚養鶏所の朝採り卵使用) 具たくさん味噌汁 (やまえ村産の野菜・山菜を使う) 調味料に時代の駅オリジナルの醤油麹や柚子胡椒を提供 *パン食は田村さんに確認 ➡ ようこ様にご意向を確認する。</p> <p>出展内容 : * ゲーム (子供が喜びそうなゲームに野菜をつけて・釣り・輪投げ?) ➡ 担当 : 山北・山田 *時代の駅特製コーヒーの提供 : 150 円? 100 円? *やまえ栗を使ったドーナツ : 150 円? 100 円? コーヒーとセットなら 200 円? ➡ 担当 : 豊永・尾方 *ぜんざい 50 食限定 100 円 ➡ 担当 : 尾方</p> <p>その他 : 駐車場予定の畜産センター使用許可申請 ➡ 産業振興課へ申請済 駐車場プレート借用申請 ➡ 産業振興課へ申請済 コインランドリー前駐車場使用許可の連絡 ➡ 多良木在住の竹原様へ確認 ➡ 本山 J A 山江前駐車場は本田様へ確認済 OK 稲田商店横の駐車場 (犬童様へ確認) ➡ 本山</p> <p>次回会議 : 3/21 (火) 19 : 00 ~ 地域研究所</p>
<p>次回の内容</p>	

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>トキの朝市 開催にむけて</p> <hr/> <p>参加者： 山北・前田・本山・椎葉・杉松・豊永・吉村・尾方（佐藤さま・川口さま）</p>
<p>打ち合わせ 3 回目</p>	<p>出店農家さん： 吉田フジコ・杉松・椎葉・小西・小林・小山田集落の農家さん 4 月中頃にならないと野菜の出来具合がわからない…らしい。 出荷可能な野菜は スナップエンドウ・サラダ玉ねぎ・タケノコ・わらび・タラの芽・フキ いちご・里芋（むいて真空）花の苗・切り花</p> <p>フリマ： 横山・増木・時代の駅 時代の駅： 玉子かけご飯・具だくさんみそ汁・コーヒー・1 皿メニュー（ポテトサラダなど） 玉子かけご飯に使う玉子は犬塚養鶏所から無償にて提供して下さる。 コスト削減できたので 400 円→350 円に変更 お替りご飯は 50 円 やまえ堂： ぜんざい・栗入りドーナツ 山北： ゲーム</p> <p>チラシ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 朝市開催予定は 2017 年 秋（産業祭前？）→広告に記載する。 * 時間→売り切れ次第終了と記載する。 * 開催場所、時代の駅を村外の人でもわかるように詳しく表示する。 * フリマの内容を詳しく記載する。 * 絵は みそ汁を小さく 玉子かけご飯を大きく * その他 の文字は外し、コーヒー・ぜんざい・ドーナツと記載する。 * 「山江さんに会いに来て！！」と書いてほしい。かかしを飾るので。 <p>チラシをはる場所： 村内の保育園 3 園・小学校・中学校・役場・J A・郵便局・コインランドリー 物産館ゆつくり・村内美容室・ガソリンスタンド・消防詰め所・大王神社前トイレ 商工会・藤田商店・稲留商店・立山商店・絵本の森・社協・やまえ堂</p> <p>最終確認： 3 月末→カラーコピー（地域づくり研究所） 4 月に入ってすぐできるだけ早く手分けして貼って回る。</p>
<p>次回の内容</p>	<p>4 月 12 日（水曜日）19：00～ 地域づくり研究所</p>

情報発信部会（山本浩己部会長）

書記（藤本一彦）

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p>
	<p>参考：ワークショップでの主な活動内容（案） 観光アピール、各分野の情報サイト、観光マップの作成、文化財等地域の掘り起こし、ICT 活用</p>
<p>内容 (記録)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の部会の情報発信役（部会同士のパイプ役） （情報のもらい方・発信のしかた） →情報発信部会とは、どこに向けて発信するのか？（村内村外） ・山江村のスマートフォンアプリの作成 →現在 QR コードをスキャンして静止画が出現するアプリは完成済。 ・360° カメラを活用しての情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ①山江村への転入希望者に空き家の間取り情報の提供 →所有者の同意等、クリアする必要がある ②山江村の文化財、観光施設等の内部を VR 撮影 →撮影禁止の個所もある ・SL 人吉と連携し観光客にボンネットバスへ乗り継いでもらう、レトロツアーの（観光アピール） →観光部会？ ・LINE グループを活用して部会員同士の情報共有（本日参加者のグループ登録済み）
<p>次回の内容</p>	<p>各自次回までに案をまとめておく（LINE での提案してもよい） 日程は 9 月末に LINE アプリでスケジュール調整し決定する。 →第 2 回は、10/20 PM7:00 山江村地域づくり研究所にて開催決定</p>

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (初会合 (H28.9.15) を踏まえて)</p> <p>出席者名：山本浩己、藤本一彦、中竹耕一郎、松本佳久、吉川浩、岩崎清佳、川口信也、佐藤和弘</p>	<p>計 8 人</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>①山江村に存在する、現在の情報発信手段について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の広報紙 ・ホームページ(山江村、山江温泉など) ・ケーブルテレビ ・山江と名の付く Facebook アカウント (山江村、山江村情報局、山江村地域づくり研究所、山江フットパス、山江村役場、山江温泉ほたる、山江元気村など) ・他に何かあるか？ <p>・他の部会とリンクして、情報を収集する。</p> <p>②山江村 PR メディアを作成</p> <p>山江村 PR 動画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山江村の1年(四季)を通して撮影し、素材を収集する。 ・ボンネットバスからの車窓。 ・万江地区～山田地区をドローンで縦断空撮。 ・被写体：観光地、ひと、各地区の行事。 ・方言の空耳など ・四季ごとに作成発信し、1年後に完成させる。 ・発信方法について、若者はYouTubeをはじめとしたインターネットで見ることができるが、高齢者や、インターネット環境がないかた向けにはケーブルTV。 <p>特産物のキャッチフレーズ</p> <p>③情報部会副会長の選任</p> <p>吉川浩</p> <p>④その他</p> <p>平成28年12月3日 午後6時30分から、100人委員会部会長会議が開催予定。 今回は、部会長会議以降になる。日程はLINEで調整。</p>	
<p>次回の内容・日時</p>		

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について</p>	
<p>内容 (記録)</p>	<p>出席者名：山本浩己、藤本一彦、中竹耕一郎、吉川浩、岩崎清佳、川口信也、佐藤和弘、倉本友子</p>	<p>計 8 人</p>
<p>次回の内容・日時</p>	<p>・H28.12.3開催 部会長会議(山本・吉川出席)復命 ・会議録作成謝礼金(3000円×2回)を素材保存用ハードディスクを購入提案(山本)・・・会員より承諾を得る</p> <p>前回の会議より ○山江村の1年を撮りためる 1月(モグラうち、しゅんなめじょ、新春駅伝大会、見守りネットワーク、みどりの少年団活動) 2月(人吉球磨はひなまつり)</p> <p>○伝統芸能 ・棒踊り(尾寄崎地区)、扇踊り(),太鼓踊り(東浦)</p> <p>○廃校になった小学校(大川内、屋形、城内、尾崎)の校歌を音源化</p> <p>○山江の猛者特集(名物村民に焦点をあてる) ①鮎とり名人 ②やまめの踊り食い ③ひょうたんの飾り物(技術はすごいが、公表していないため知名度が低い) ④栗の皮むき名人() ⑤リアルかかし ⑥地域(みんな)のお母さん(大谷さん)・・・子供の悪いことやイタズラを見つけて叱ってくれる。大谷さんをクローズアップして動画を撮影。</p> <p>参考に ○現在作成中の山江村PR動画(子育て)を試写・・・業者作成 ・ケーブルテレビと撮影手法の違い・・・最初から構図を考えて撮影する。スタビライザーを使っのビデオ撮影、一眼レンズカメラを使用、画角の違い。</p> <p>○いろいろなPR手法 ・てなんど小林(小林市PR)ポスター・・・西諸弁標準語化計画</p>	

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について</p>	
	<p>出席者名：山本浩己、藤本一彦、中竹耕一郎、吉川浩、川口信也、倉本友子</p>	<p>計 6人</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>・会議録作成謝礼金(3000円×2回)を素材保存用ハードディスク購入提案(山本)・・・注文済 ・球磨村、山江村移住プロモーション動画、やまえ栗PR動画の視聴</p> <p>・前回協議した、地域のお母さん(大谷さん)のクローズアップ動画の企画 ・大谷さん(本人の了承を得る) 活動拠点は、大王神社周辺 活動時間帯は、朝夕、休日 撮りためて、後で編集。</p> <p>・インタビュー ・昔話し(怒られたエピソード)</p> <p>・子ども見守りの15秒30秒CMとして作成すれば、村外へもPR発信できる</p> <p>CM ストーリー案 「悦子(エッコ)ちゃん見守り編」</p> <p>①岩崎和也さんの後ろ姿でインタビュー ②悦子ちゃん登場 ③子供が悪ふざけ(田んぼに投石、飛び出し、神社に土足など)・・・大王神社の日常を撮影 ④「今でも怒られています」のセリフ中に子供が走って怒られる。</p> <p>・大王神社から見守る(鳥居の下) ・手には家事道具 ・毘沙門天から踏まれるように</p> <p>撮影方法 動画もいいが、静止画と吹き出しを組み合わせても面白いのでは</p> <p>・廃校(大川内、屋形、城内、尾崎)の校歌の音源化 ・万江地区は40歳代から、尾崎小は50歳代から歌える ・中竹さん、松本さんで調査</p>	
<p>次回の内容・日時</p>	<p>撮影前の打ち合わせを行う LINEにて、日程は調整</p>	

環境・防災部会 (横山浩之部会長)

書記 (山本征治)

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p> <hr/> <p>参考: ワークショップでの主な活動内容 (案)</p> <p>(森林・環境関係) 森林公園、部落公園、森林保全管理、林業後継者育成、鳥獣害対策、レジャー、エネルギー対策</p> <p>(防災関係) 消防団員の増員、災害対策、防災マニュアル、災害時のう回路</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>村内の遊休地を調査する</p> <p>埋め立てできる場所は山田川や万江川の体積土砂を浚渫して、埋め立てに利用する</p> <p>西川内や寺山、新曽、別府地区などできるところから開始。</p> <p>工事用の廃土場所としても利用し、埋め立てができれば、刑務所や企業誘致や住宅用地にして、刑務所や工場ができれば職場確保、人口増加につなげる。</p> <p>インターチェンジからも近いので有利。</p> <p>住宅を作ることで消防団員の確保にもつながる。</p> <p>遊休地に太陽光発電パネルの工場誘致を行い太陽光発電所も作ってもらう。</p> <p>河川の浚渫をした後、湧水公園を作り、カヌーやボートを使った球磨川でのラフティングをまだできない人たちの受け入れもできる。</p> <p>カヌー部を作り小中学生から練習を行えば人吉高校や球磨工業のカヌーにつながり国体やオリンピックを目指すアスリートの育成にもつながる。</p> <p>遊休地の地権者の問題をクリアし、土地の有効活用を目指す</p> <p>山や林、川を使ったサバイバルゲームのフィールドを数か所作って、全国から愛好者を引き込む。</p> <p>総合公園として山江村全体を公園とし、丸岡公園など今ある施設を整備し有効に使い、フットサルやカヌーボート、サバイバルゲームなどのコンテンツで収益を上げ、その他の地区内公園の整備を行う。</p> <p>獣害対策としてハンターとして生業ができるよう、捕獲した後の獣肉や皮の加工ができるよう加工所を作り精肉、革加工品などの新産業につなげる</p>
<p>次回の内容</p>	

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について</p>	
<p>内容 (記録)</p>	<p>出席者名： 横山浩之、山本征治、岩本良一、勝山清己、谷口予志之、田原龍太郎、 前田裕々雄、鏡山和人、嶽森昇、山口美敏</p> <p style="text-align: right;">記録：佐藤</p>	<p style="text-align: right;">計 10 人</p>
<p>次回の内容・日時</p>	<p>4月以降未定</p>	

福祉部会 (川内孝之部会長)

書記 (深水久美子)

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p> <p>参考：ワークショップでの主な活動内容 (案)</p> <p>(高齢者サポート関係) 見守り、買物・通院支援、地域の縁側、茶話会、配食サービス</p> <p>(子育て交流関係) 子育てサロン、子ども公園、世代間交流、子ども食堂、障がい児支援、情報通信活用</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>出席者：川内、深見、澗田、城子</p> <p>* 部会長の挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をどうやって進めていくか不安であるが、この会が充実した内容にしていきたいとは思っている。 ・この会は私たち部員が動くのではなく、アイデアを出し、行政などに働きかけることをするものである。人間に例えたら、脳の部分にあたる。 <p>* これからの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少ないので方向性を決めるのは早すぎるのではないかと。多くの人に声をかけし増員し、役員抜きで常時 6~7 名は部会に参加して欲しい。 ・この部会は月 1 回開催し、昼間は仕事があるため、土曜、日曜の夕方より開催し、話し合いの上、次の日時を随時決めていく。 ・現在この部会は行政の方から連絡をとってもらっているが、これからは部会長を中心として動く連絡網を作成し、発信していく。 ・上記の活動は多すぎるのではないかと。見守り、買い物、通院支援、茶話会、配食サービスなどは、現在何らかの形で進行している。それが区によって出来ている所と出来ていない所の差がある。 ・今一番、独居老人や老々介護している人が欲しいのは、話し相手ではないかと思われる。一日誰とも話さずその日が終わってしまう人も山江にも確かに居ると思われる。現在、園児、児童、生徒を対象に、本の読み聞かせがあつているが、老人向けにも必要ではないか。 ・話し相手を短時間でもするには、民生委員さん、行政社協などに働きかけ、どう動くかを考える。書記の個人意見ではあるが、副区長さんにも声をかけたらどうだろうか。 ・趣味で球磨拳などする場所を提供して欲しいとの希望があり、行政に尋ねると、将棋盤、囲碁盤など改善センターに立派な物があるとのことで、これらのことが多くの村民に知られていないことが残念である。 <p>* 子育て交流関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中は不安が多く、色々な悩み事があり、同年代の子を持つ親との交流を深めるため、行政が行う事業に参加することで助かった部分がある。 <p>* 子供食堂とはどんなものか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、片親で子供を育てている家庭も多く、働かざるを得なく、土曜、日曜、祭日、夜間などに子供だけになってしまう時間がある。その子供たちを対象に食事を提供していることがあると、テレビ放映で観たので提案した。 ・少しの金額であれば金銭の発生があつてもいいのではないかと。又、サービスする方も、ボランティアばかりでなく、わずかばかりの収入があつてもいいのではないかと。 <p>* 障害児支援とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児を持つ親は、家で隠して誰にも話さない。見せたくないタイプと、どんどん外に発信し、サークル、施設などを活用しているタイプとある。果たして隠している親に無理に踏み込んでいいものか。どこまで支援できるのか。しかし相談相手は欲しいのではないかと。親の心のケアが必要ではないか。 ・障害と一口に言っても、度合いは違うし、小学校、中学校には特殊クラスがあるがそこにも行けない子供がいることも現状である。全く見えていない状態で雲を掴むようなもので支援の方法が分からない。
<p>次回の内容</p>	<p>H28 年 10 月 8 日 (土) PM7:00~ 於：地域づくり研究所</p>

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (初会合 (H28.9.10) を踏まえて)</p> <p>出席者名： 川内、城子、深水、山下、東、藤本</p> <p style="text-align: right;">計 6 人</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>川内部会長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡網ができる人数は出席して欲しかったが相変わらず出席者が少ない。 ・この部会は無料で行われることなのか。代価があつていいのではないか。 ・無作為に選ばれて、ただ何となく行ってみたが、なかなかモチベーションが上がらない。故にメンバーを最初から見直す必要があるのではないか。 ・福祉、子育てで困っている人の本当の声を聞いてみたいが、なかなか聞くことができない。 ・自分のなかでは莫大なお金と時間がかかることも分かっているが、年寄りと子供と一緒に過ごせる施設があつたらいいなあと考えている。 <p>本部より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今はアイデアを出す時期で、本年度は無料であるが、必要であれば来年度は予算を組むことができる。 <p>東さんより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政からの情報が乏しい。例えば、何月何日“子育てサロン”があります。と、オレンジの紙に一行で済ますのではなく、「山江では毎月水曜日の午前中に何を行っています。こういう人が対象で何か困ったことがある人、話を聞いて欲しい人がいたら一度来てみて下さい。」と保育園や学校を通して具体的に知らせる方法もあるのではないか。 ・「イスマ」で現在、九ちゃんクラブというものがあるらしい。最初は小さなイベントみたいにスタートしたが「ほっとステーション九ちゃんクラブ」へ遊びに来ませんか。とインターネットで公開されている。このことは実際、イスマに行つて確かめて、皆さんに知らせたい。山江でもしこういうことができるのなら、土曜日にして欲しい。 ・行政の行事などは平日である為、なかなか出席できない。 <p>藤本さんより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉は、子供と年寄りに分けて考えたらどうだろうか。 ・自分としては、年寄りのことしか分からないが、以前テレビ番組で福祉のことで住民がどう思っているか、何が大変なのか、何に困っているのかを提起し、それについて対応策を考え、いい町、村づくりに持っていく番組があつたが、それらを参考にして、一つ一つの問題を提起したらどうか。 ・免許証（車の運転）返納がとても気がかりである。現在、山江に住んでいて、車の運転ができないことは日々の生活に困る。丸岡号の利便性も考えられているが、人吉市内の目的地まで行くのは非常に不便である。 ・この 100 人委員会が発足したのも何か自分にできることがあればと、生きがいを感じたり、役に立ちたいと思つて参加したであろうと思われる。だからもっと行政の方から積極的に声掛けをし、充実した部会にしてほしい。 ・課題を取り上げ、提案をしていくのであるが、たくさん問題は処理できないのではないか。自分達は何ができるのか、方向性を決めるだけではないのか。もう少し時間をかけゆっくり進んでいったらいいのではないかと思われる。
<p>次回の内容・日時</p>	<p>11 月 12 日（土） 18：30～ 場所：地域づくり研究所</p>

福祉部会（川内孝之部会長）

書記（深水久美子）

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について（第2回（H28.10.8）を踏まえて）</p>	
<p>内容 (記録)</p>	<p>出席者名： 川内、深水、藤本、城子、東</p>	<p>計 5 人</p>
<p>深水より“ほっとステーション九ちゃんクラブ”について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所は、イスマ九日町本店の斜め向かいにあり、入るとすぐ左手に受付があり、人吉市の健康福祉課の職員の方が常駐している。 ・健康福祉課の方は、人吉在住の子を持つ親の相談にのっている。例えば、今度保育園に入りたいのだけど、どの保育園がどんな特徴を持っているかなど市役所に手続きする前の軽い相談にのっている。他の町村のことはそれぞれのやり方があるため、人吉市のことしかわからない。 ・でも、ほんの些細なことで困っている場合、どこに相談に行けばいいかわからないときは、軽い気持ちで立ち寄ってほしい。アドバイスは出来るかもしれない。 ・奥の方には「ふれあい広場」が畳敷きの広いスペースがある。ちょっとした遊具も置いてある。 ・月、火、木、金の午前10時から午後4時まで（祝祭日は除く）利用でき、ここはどこの市町村の方も利用できるが、会員登録が必要である。 ・人吉市が「NPO法人 人吉球磨陽だまりの会」に運営を委託し、その会で活動する人は養成講座を受け、2年毎に再度講座を受けることを条件とする。現在20人位登録しているが、実働の方は5～6人で年齢層もまちまちである。 ・駐車場がないため、利用する度に“ふれあい広場”に尋ねなければならない。 ・月に一回イベントがあるがそれには他の町村は参加できない。 ・目的は親子のふれあいを大切にするため親子で参加し、個々の子育てを支援し、指導するのではなく見守ることに重点を置いている。 <p>部会長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援も他の町村のいいところ取りで、山江が出来ればいい。村外からの定住者にもっと山江の活動をPRしてほしい。 ・人吉の九ちゃんクラブみたいにするのであれば、山江は一か所では出来ないの、健康の駅など既存の施設を利用し、曜日毎、内容など変えていけば山江村まるごと子育て支援もできるのではないかな。 <p>藤本さんより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK地域づくりアーカイブスで放送された分の資料を提供。 成功例として、徳島県上勝町の葉っぱビジネス 長野県小川町のおやき } は有名であり、話題となる ・山江は今まで住んでいた所と比較すると隣近所が顔見知りで仲が良かったため、まとまりやすい環境にある。そこで山江ではおいしい漬物がたくさんあり、漬物のことをもう少し掘り下げて、年寄りが生きがいを感ぜながら楽しく事業に取り組めるのではないかな。山江には、したくても車の運転ができない、作っても売り先が分からないなどの悩みを抱えた有能な高齢者がいるのではないかな。役場はこうした人々を発掘してほしい。 <p>事務局より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、フットパスを取り入れている町村が多いので、山江も試験的にそれに取り組んでいる。 ・フットパスとは、イギリス発祥で森林や田園、古い町並みなど、それぞれの地域で残された「ありのままの風景」を楽しみながら歩く（Foot）ことができる小道（Path）のことである。 ・9月25日に行われたフットパスでは、3コースに分けてあった。会費は大人2,000円、小人1,000円で約2時間歩き、その間2か所の休憩所があったら助かるのではないかと感じた。その休憩所でのトイレ、食事の提供などには会費の中から支払われる。食事の提供となると他の部会と協力することによって可能ではないだろうか。 ・山江でこれを取り入れたのは、昔からあるありのままの風景を見て歩き、いいところがいっぱいあるので少しは冒険的な要素を含み、徐々に山江のことを知って欲しいねらいがある。 ・最終的には山江を元気にし、個人の健康にもつながるのではないかな。 ・現在、村内の小学校では“伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度等を授業に取り入れてある。そこには郷土愛とは、自分が生まれ育った場所に対して深い愛情や親しみを持つことである。自分が育った郷土は、自己の形成に大きな役割を果たすとともに、一生にわたって大きな精神的支えとなるものである。 ・こうして私たちが教えられてきたかどうかは別として、山江を出て行った人たちはふるさとを懐かしく思い、帰ってきたいと思う人がたくさんいるのではないかな。これは村外に出て初めて気づくものである。 		

	<p>城子さんより</p> <ul style="list-style-type: none">・現在のまるおか号について知りたい。山田から万江の温泉に行きたいが、時間的に行ける路線がない。 <p>事務局より</p> <ul style="list-style-type: none">・まるおか号のことは来年4月検討会が開かれる。こうした個人個人の意見を拾い上げていきたい。
次回の内容・日時	<p>12月には行わない。1月は12月3日の部会長・書記の合同会を終えて日時を決定する。</p>

福祉部会（川内孝之部会長）

書記（深水久美子）

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について</p>	
<p>内容 (記録)</p>	<p>出席者名： 川内孝之、東亜里沙、深水久美子、城子サダ子、藤本勇夫</p>	<p>計 5 人</p>
<p>今回の内容・日時</p>	<p>4月8日（土） 午後7時より</p>	

部会長より
 実働に向けて、福祉部会というのは幅が広すぎ。一度にすべてのことをやるのはむずかしい。例えば子育て世代、高齢者に対してと、2つのことに絞ってみてはどうだろうか。そのなかで今年度は何をするか部会で進めていく。何も決まらないまま行政に丸投げすることはできない。しかし行政と連携をとっていくことは大切である。

各部員より
 ・子育てで本当に困っていることは何か。現在行政が行っている“子育てサロン”などと一緒にやったらどうだろうか。
 ・高齢者向けの丸岡号の改正に期待している。
 ・先月27日、山江中に食改が郷土料理作りに行った。現在、担当の先生は地域の方の協力を望んでおられる。来年度は郷土料理ばかりでなく、マラソン、駅伝大会の折、おにぎり、豚汁を作ってほしいとの希望あり。こうして学校も教育委員会も地域の方が教育の場へ入り込んでいくのを期待している。

事務局より
 ・例えば、おにぎり、豚汁作りに地域の方が参加し、いくらかの報酬を受けるのも一つの方法ではないか。また、食の提供部会とコラボして、言葉が悪いが小銭をかせぐなどしてはどうか。

部会長より
 ・小銭をかせぐのは、イスマやスーパーキッドなどのふれあい市場みたいに場所を提供してもらい、そこに自分たちが作ったものを並べ販売する。現在こういう例がある。
 ・自分の理想としては「子供食堂」を立ち上げることである。両親が共働き、ひとり親など孤食にならないよう支援する。しかしこれが定着するまで長い期間、労力、熟慮が必要だと思われる。

各部員より
 ・現在、子供たちは給食の無い、土曜、日曜は昼食としてしっかり食べているのか。親はちゃんと食事を作っているのか。
 ・学童にやると、弁当持参となっているので作るが、それ以外はカップラーメンやおかしで済ませているのではないか。
 ・本来の目的は子供たちも正しい食生活を送り、年寄り健康寿命を延ばし、やりたいことを見つけ、やる気をおこすことが望ましい。
 ※ 高齢者が元気で、楽しく働ける加工場を作ろうという意見に最後はたどりついた。
 ・山田一丸の村松さんの味噌漬けがとってもおいしいということで「一度食べてみたい」の意見も出、「この味は是非後世に続けるべきである」とのこと。
 ・現在、畜産センターの建物が月1回の利用しかなく、ほとんど建物の中は利用されていないとのことで、そこを活用して加工場として行政によびかけてはどうか。
 ・3月の定例議会に来年度の予算として、一部会20万円の予算を計上し提案してある。これが承認されたら、研修、視察などに利用できる。
 ・とにかく実現するためには、一歩を踏み出すことが大切である。予算がおりたら、下村婦人会の工場を視察したい。

部会長より
 ・どうなるかと思っていたが、ようやくやることにたどり着いた。またこれからみんなで意見交換してこの会を盛り上げていきたい。

事務局より
 ・4月30日（日）福祉まつりの際、1時間程度の子で各部会の交換会を予定している。

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1 . 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p>
	<p>参考 : ワークショップでの主な活動内容 (案) 小・中学生のダンサー育成、サッカー、子ども救命士、消防訓練</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>参加者 : 松本聖司、岡本翔太、杉松孝亮、藤田雄哉、谷川正晃</p> <p>1 山江村にスポーツ施設を造りたい (丸岡公園のグラウンドをビーチサッカーコートに・丸岡公園を再整備して活用・グラウンド中央付近にあるバックネットを外してサッカーコート専用) ビーチサッカーコートは海辺にしかなく馴染みがない、そこで近辺にあると活用の場が増え、砂の上でのスポーツなので足腰が鍛えられ総合的に体力がつく。山江に色々な施設があれば講師を呼ぶだけでレクチャーできる。</p> <p>2 ケーブルテレビを活用 (体操の番組を設けて老若男女、テレビを見ながら体操ができるようにする・AED の使用方法を流す。健康対策を流す・山江さんを活用・ストリートダンスのレクチャーを面白おかしくお杉さん演出させる)</p> <p>3 山江村のイベント (スポーツ) を開いた際には、参加費の中に温泉チケットや時代の村役場等の食事券をつける</p> <p>4 この会を継続するには、夜に会議等に出席しなければならず家族の理解が必要。健康・スポーツ部会の人はまだ子供が小さいので中々動きづらく、結果が出るのも当分先になるので活動自体が見えず嫁の理解に苦しむ。そこで役場等からのバックアップの必要性を感じる。</p> <p>5 山江村に村外から入りたい人が多いので、今こそ取り込むべきである。</p> <p>6 若い人たちが農業をしたい (法人化) 農業のグローバル化。作った作物を販売できるルート・余っている田んぼの活用・小学生に農業の楽しさと苦労を体験してもらおう (田んぼアート作成⇒実際に法学生に生で田んぼアートを見せてイメージを確保して、実際に大人と一緒に作成していく。高速道路から田んぼアートが見れば PR にもなるのでは)</p> <p>7 役場前の体育館の 2 階のスペースを筋トレルームとして作る。気軽に筋トレを行い、トレーナー等をつけてお年寄りもできるようにする。体力の基礎ができ小中高生のレベルも向上すると思われる。</p> <p>8 地域の人が全て救急法ができるようにする。</p> <p>9 悪ノリできる場所が欲しい (例 : 山江 CLUB・DJ) 防音効果を高めたハウスが必要。人生には音楽が大事。20 代が変に悪いことをしないようにダンスグループを作る (熱中し活躍する場があれば地域に残り、いい方向へ進みそう) 悪いことをした人にしか教えないこともある。</p> <p>10 地域には人、特に若い人が残れないと衰退していくので、地域に職が必要</p> <p>11 いじめ撲滅 (周りに叱ってくれる人が昔と比較すると少なくなった)</p> <p>12 児童や生徒を心の底から思ってくれる先生が必要 (健康は精神からくると考えられる)</p> <p>13 会の中で出た案 (例 : ダンス、ビーチサッカー、農業、陸上) を体験してみる</p> <p>14 村から、補助金の活用についての説明や提案をして欲しい (全く無知なので) さらに役場の方に入ってもらえれば、色んなことを開けるので会の運営がスムーズに進行できそう。</p> <p>15 認知症にならないようにコミュニケーションの場を増やす</p> <p>16 体育館の使用料が高く使用しにくい</p> <p>17 山江村の中で特技を持っている人を活用する (例 : ダンスの振り付け)</p> <p>18 楽しんで仕事ができる仕組みを作る</p>
<p>次回の内容</p>	

健康・スポーツ部会（谷川正晃部会長）		書記（藤田雄哉）
<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (初会合 (H28.9.9) を踏まえて)</p>	
	<p>出席者名 松本、藤田、岡本、谷川</p>	<p>計 4人</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>前回平成28年9月9日の話し合いでは、18個の意見がでましたが、3つくらいに絞りたいと思います。どれがやりたいか一人ずつ選んで下さい。私個人的には、長期にかかる計画と、素早く取り掛かれて成果が見えるものやっつけていければと考えています。 ※各項目の課題と方向性はあくまで話の内容から考察したものです。</p> <p>1 丸岡公園にビーチサッカーのコートの施設を造りたい。 サッカーコートやフットサルコートに比べ全額面では安いと聞いています。 砂で700～800万、それにネットとゴールが必要になってきます。 バックネットがいらないのではと思います。なぜなら丸岡で野球等をしている人を見たことがない。 観客席を完備これについては、丸岡公園東側が斜面になっていて、段々に観客席が設けられそう。音楽をガンガンかけながらやっても人家がすくなくないのでイベントを行う際にも大丈夫そう。 現在人吉球磨の方は芦北まで行っているの、大変。そこで人吉球磨にあると思われる。需要については、人吉球磨に2～3チームほどである。しかしビーチサッカーはダイナミックなスポーツで見応えがある。 デモンストレーションを似た場所で行うことは出来ないか？ 田んぼでサッカーを行って、子供や大人も参加して普及を図る。 水上村にクロスカントリーのコースが出来るが、実業団等と呼んだりするのは？ 同じようにビーチができれば、熊本県には、日本代表の方もいるので呼びかけたりして生で見る機会ができる。プロや観客が増えれば、山江村の施設を利用してお金が村に入ると思われる。</p> <p>課題：経費、需要の把握 方向性：実績を作り長期的な計画をするといいかも。田んぼサッカー等を行って関心を高め→中学生のクラブにサッカー部を創設→サッカー人口の増加→ビーチサッカーコートの建設へ向けて土台が出来ていく。</p> <p>2 役場前の体育館2階スペースの利用について 使用状況の改善 現在、体育館2階を当日に使用しようとしても使用できない。利用しているのは、ビーチバレーに来た子連れの子供くらいである 料金がコート代200円+照明代200円と1人で気軽に使うには割高である。例えば2階スペースを自由に使えるように、図書カードみたいに発行して使用を認める。また、アンケートを用いて来た人に要望を書いてもらう。 体育館2階スペースの有効利用案について 大画面のモニターを設置してネット動画を見ながらエクササイズが出来る施設。ネット環境があると、多くの動画があり、自分にあったトレーニングができる。 マットがあるだけでも自分でトレーニングができる。器具などが増えると利用者が増えると思われる。</p> <p>課題：村民が自由に使用できるように、料金を下げる。需要の把握 方向性：自由に使えるように料金等の見直しを行い→多くの方に利用してもらい→アンケートを取る→どんな施設にしたいかイメージ→器具の充実を図る</p> <p>3 ケーブルTVを活用した救急法やダンス 山江さんは子供に大人気であったことから、人気キャラを使って広報する。キャラは自分達でやってみてもいいかも。心肺蘇生法を面白くすると記憶に残りやすいのでは。例：アントニオ猪木、歌に合わせて（ドラえもん等をやっている所もある） 山江村にあるAEDの設置場所を画像で流す。 ダンスのレクチャーを何通りが設けて流す。子供用、エクササイズ用、ご年配用。 既存を活用できるので、今年度中にもできるかもしれない。やってみるには実行に移しやすく、視聴者の反応が確認できそう。今度、谷口君に入ってもらって、この案件を進めていこう。まずは簡単に撮影して試してみよう。</p> <p>課題：出演者とキャスティング、ケーブルTV担当者との予定を合わせる 方向性：ケーブルTV担当者や打ち合わせ→原案→撮影→オンエア→効果の確認</p> <p>4 室内遊具施設について 休日など雨が降ると、子供と遊べる場所がないので遊び場があればと思います。 例えばゆめマートの施設内には、大きな遊具があり子供はもちろん大人も一緒になって遊べます。また、役場前の体育館2階スペースの利用について意見があったように、大人がトレーニングする施設と上記の遊具を併設することにより、子供が遊具で遊んでいる間に、大人はトレーニングすることも可能となります。絵本の森の2階を使ってはどうか？今ある山江施設で使用していない施設をリノベーションしてみる。経費は新設よりはコストダウンするのでは。</p> <p>課題：費用 方向性：不明</p>	
<p>次回の内容・日時</p>	<p>ケーブルTVを活用した救急法やダンスの実施に向けて進めていく。また、他の案の話も行う。</p>	

健康・スポーツ部会(谷川正晃部会長)

書記(藤田雄哉)

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. ケーブルテレビで放送を行うには 必要な事と流れ</p>	
<p>内容 (記録)</p>	<p>出席者名: 松本、藤田、谷口、谷川</p>	<p>計4人</p>
<p>次回の内容・日時</p>	<p>発案者でもある岡本君が参加できるように2月17日に飲みながら、応急手当(心肺蘇生法)の原案の話合いを行います。ちゃんと誰かが記憶しておかねば(+o+)</p>	

前回の内容から本日は、CVTV の谷口君に参加してもらい、応急手当とエクササイズを撮影し放映するまでの話を進めて行きたいと思います。

①CVTV について (谷口君)

撮影はどこでも OK。撮影については、企画課長の北田さんに話をすれば OK ですよ。
4 月から番組の構成表を作るので、それまでに作ってしまえば、番組枠内に入れられる。毎年度の瓦版みたいな感じ。途中から撮影をして5月や6月に入ることもできます。水泳が始まる6月頃に放送を開始したらいいのかな。
撮影しながら声を入れるのか、撮影したあと声を後から入れるパターンがあります。
CVTV のスタッフのみで作るのは大変で、役をやってくれる人がいるとやりやすい。他の部会も CVTV を活用するところがあります。

②応急手当の撮影について

5分くらいの内容がいいかな?撮影してきてきた時間で OK では?もし短くても何かを入れて5分とかも OK なんじゃない。最初はハードルを低くして撮ってみて、しっかり学習出来ているか検証が必要かな。応急手当の中には、「心肺蘇生法」や「AED の使用」「窒息対応」などがあるので、基本のところをやればいいのかと思います。やるなら「心肺蘇生法と AED の使用方法。119 通報」

心肺蘇生法等を覚えてもらうには?

間違いを入れつつ訂正しながらやっていく。ドリフ風や時代劇風。山江さんが人気だからね~山江さん登場もありかな。放送するにあたり、面白くした方が何回も見るのはないか。
AED が近くにある場所で撮影してみてもいいかな。山江温泉とか。山江温泉付近の道路上で倒れた想定とか。
どういう風に作成するかは、飲みながらがいい案が出そう。そのやりとりをビデオに撮っておこう。
一連の流れを撮ったあとにクイズ形式にして覚えているか確認するのもいいかも。CVTV のリモコンの赤青黄緑のボタンを利用してクイズの回答に使えないかな?設備の整備に2000万ほど必要です。小学生にインタビューして学習できているか確認するのもいいかも。その結果を次回の撮影に活かすのも大事な。タイムラインを使って感想をもらう方法もあるよ。
AED の場所がわからないから、その場所を示す画像も必要。
まず AED の使いかたが分からない人が初めて使ってみる、その後、使い方が分かった状態でやるのも面白いかも。
撮影方法で、レンズ付きのカメラで撮ると周りがボケた感じになり、面白い内容であってもかっこよく映るよ。

エクササイズ

杉松君に来てもらわないといけないね。杉松君は必須です。
仮に杉松君に来てもらったら、仕事で来る訳なので報酬等が発生するのでは?
逆に杉松君はそこでダンスの PR が出来る訳だから、報酬を出さなくても良いのでは。
報酬を出すなら来年度からは可能だと思います。
レッスンで体幹トレーニングやってみた。めっちゃきつかったけど、痩せたよ。途中まで SNS にアップしていた・・・体重は元に戻ったけど。ライザップみたいに誰か実験的にやってみるのも楽しそう。

その他

トライアスロンを山江風にやってみる!
水泳を沢登でやって、三輪車をこいでランニング。
サッカーの CM を作成する。現段階からサッカー関係をやっておくと、今後に繋がると思う。カッコいい CM を作る。ダブルのやり方を撮影してみてもいい。

山江村子育て PR のビデオをしてみる。

いいできた。業者に作成してもらっている。動きと音楽があっていた。どうやって撮影しているのかな?体に固定できるビデオで撮影している。場面の変わりがうるさく感じた。川の岩の質感が良かったね。

心肺蘇生法の一連の流れを説明を行った。

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. CATVで放送する心肺蘇生法をどのようなストーリーにするのか</p> <p>出席者名：佐藤さん、松本、川口、谷口、藤田、岡本、谷川</p> <p>計 7人</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>① どんな感じで物語を作っていくか？ 山江さんを出す面白いのでは。面白い方向で内容が伝わるようにしなければならない 設定を小学生にする。胸骨圧迫をする時に、おっばいを押す 間違ったことをすると、映画泥棒の「ノーモア映画泥棒」を登場させる。たかあきにやってもら。 山江さんも使える AED⇒すると皆も取り扱いが簡単と思ってくれるのでは？ 季節ごとにいろんなバージョンをやる（夏なら、溺れている。冬ならヒートショック） 最後には、正しいやり方をレクチャーする 素材をいくつも撮っておいたほうが編集にも幅だ効きそうだ。アングルを変えながら撮影して編集。 無駄にドローンを使って、カッコよく見せるとか。テロップを入れることは可能である シリーズ化（幼児、小児、大人）。広い意味で心肺蘇生法をやる（山江の高齢者率は32%なので） 井ぶり王子（朝食に、ご飯3杯ちゃんぽん3杯食べる）</p> <p>② 心肺蘇生法前の意識を失うパターンについて 1 爺さんが飲みに行き、興奮して倒れる 2 みんなで飲みに行っている時に倒れる 3 マロンちゃんに興奮して倒れる 4 徐々に運動して倒れる 5 山江さんとコラボして倒れる（前もってボケる人を作っておく必要がある、そうしないとストーリーがおかしくなる 6 おすぎ婆さんの登場 上記のことから、キャラ設定をしっかりしておかないと、焦点がぶれ、話が広がらない。 さらにこの話から、一つキャラが絞られる⇒おねい系！！</p> <p>③ ひとまず、おねい系で話を考えてみる 場所：時代の駅役場の横断歩道（歩道） 登場人物：おねい系3名（U子、S美、数寄屋音子）、池麵太郎1名（イケメンに限る） ※名前は仮で適当につけています。 池は、都会に住む旅行好きな美青年。昼食を摂るためブラブラ歩いている。お店がないかU子に声をかける。 U子は「そこに、時代の駅役場があるわよ、オススメ」と答える。池は、その店に方に向かう。その時、急に胸が苦しくなり、横断歩道（歩道）上で倒れてしまう。 それを見ていた、U子は、安全管理を十分に行い駆け寄り、池の意識を確認する。意識がない。U子はすぐに大声で助けを求める。近くにいた、2人の女性が駆け寄る。 救急法を習ったことがあったU子は、うる覚えで心配蘇生法を心みる。 U子「あなたは、110番を、あなたはLEDをもってきて」 ブルー正しいやり方は・・・ U子呼吸の確認 呼吸がないので胸骨圧迫開始 池のシャツをビリビリ、おっばいを触る ブルー正しいやり方・・・押す場所、手の組み方、強さなど 119通報を終えたS美と音子が帰ってくる。 人工呼吸をしようとする、3人で取り合いになる。キスをしようとする。ブルーそんな時間はありません・時間の大切さを説明（脳へのダメージ等を説明） 30：2のサイクルで胸骨圧迫と人工呼吸を実施。 2～3回実施すると、池は復活。 池は3人に担がれ、時代の駅役場へと連れて行かれる。END 正しいやり方を最初から流れで行う。 AEDの設置場所の紹介</p>
<p>次回の内容・日時</p>	<p>ストーリーの詳細、出演者と役割を決める。</p>

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (何をどのように進めるか)</p> <hr/> <p>参考：ワークショップでの主な活動内容（案） 誰もが学べる ICT、情操教育、地域の文化・継承、コミュニケーション</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>◎地域の文化財・行事・祭事を継承していこう！</p> <p>①日本文化遺産に係わる講話を聞きたい。 ※興味関心ある文化財等の地域に係わることを掘り起こす。</p> <p>②日本遺産とのつながりの山江村にある文化財を掘り起こす。 ※村内の地域の文化の行事・祭り・文化財などを中心に掘り起こす。 ：地域の方に、地域に残っている昔の様子を聞き取り書き残す。 ：一人の方ではなく、複数の方から聞き取り調査。 ：例 山田尾崎萩神社 （12月最初の戌の日） など ：聞き取りの対象となられる方は高齢の方が多いと思われるので、このテーマに早く取り掛かった方がいいということになった。</p> <p>③村内の文化財の案内板が欲しい。 ※山江村の入口、役場、温泉センターに標識看板の設置やマップ作り、冊子作り → 子どもたちへ伝承（聞き取った話をもとに昔話作成など）。 ：看板やマップ等はフットパス事業との関連？</p> <p>◎大人の ICT については、 ：次回からの研修の場で部員が調査書や資料などを使用しながら、電子黒板やタブレットに触れることからはじめてみる程度で。</p> <p>次回は、9月13日（火曜日）午前10：00～12：00 歴史資料館研修室にて</p>
<p>次回の内容</p>	<p>山江村の昔を掘り起こす作業手順</p>

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 山江村の昔を掘り起こす作業手順について</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>○前回決めた内容の再検討 文化財などの掘起しは学芸員さんを中心に専門の委員会でされるのではないが、 地図・標識については、観光部会やフットパス事業ですでにとりかかられていることもある。 国、県、村指定の文化財については十分に研究されているはず。 → もう少し力を抜いて、気軽に楽しく取り組めることにしよう！ 提案・・・山江で語られていた昔話を冊子にまとめたりできないか 語られていなくても、聞き取りをする中で、そのお堂の習わしや、祭事のいわれなどから おはなし（民話？えほん？）を作ってみたら？</p> <p>★佐藤様よりアドバイス 作られたおはなしをホームページや Facebook にのせて観光事業とからめる、ということもできますよ！</p> <p>○では、山江村地域に残っている昔話などを冊子にまとめる、をやってみよう！</p> <p>なにからとりかかると？ じいちゃんが孫に語っていたおはなしを3つ紹介してみた 「やまだのおごじよ」・・・堂園でのお話し。一時期、中学校の文化祭で紙芝居など作られたりして、 みんな知っていた、が、残酷な場面があるということで封印？されている 「ならんたいこのなるたいこ ひゅうひゅうどんの・・・」 ・・・知られていない。お年寄りを大事に、という締めはいい。彦一さんほい 「やじゃあどん」・・・錦町の民話かも？首が切り落ちて、あわててつけたら前後逆だったので・・・と いうブラックユーモア？→木上地区の話かも</p> <p>堂園にも怖い言い伝えがあって、そこを通るのが怖かった ある村民の方が、以前昔話を集められていた 「熊本県山江村における習俗の基礎的研究」小島美憲 著 に参考となる内容が満載。</p> <p>→ 自分が行けるところから行ってみよう！ 立石さん・・・大川内薬師堂や庚申祭など黒木マサエさんに聞き取り 内山さん・・・栗仲間のやまだのおごじよたち（村松ユミさんや井福セツさん）に聞き取り 吉川さん・・・潮谷さんのお宅に 横山（吉川さん）・・・吉田九十巳さんがらん堂（がらん祭）、権現堂などについて</p> <p>欠席の方もいらっしゃるの、次回は中間発表をしてみましょう。</p> <p>○大人の ICT については、 ：川口さんより電子黒板とタブレットの使い方をお聞きして、タブレットも使ってみた。 次回の会議でツールとして使えるところで使ってみましょう。</p> <p>次回は、10月4日（火曜日）午前10：00～12：00 地域づくり研究室にて</p>
<p>次回の内容</p>	<p>聞き取りをした中間発表</p>

文化・教育部会（横山理恵部会長）

書記（吉川和子）

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (H28.9.13、H28.10.4を踏まえて)</p>	
	<p>出席者名：横山理恵、内山三也子、立石アサエ、坂田妃美、吉川和子、川口伸也</p>	<p>計6人</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>欠席：犬童美津子、郡 眞聖</p> <p>『前回の継続調査の報告』</p> <p>横山さん→山江村願掛け巡りマップに沿ってそれぞれの書籍にあるおはなしをチェック。 ◎山江村の橋の一覧表より小字名から場所等を特定 ◎山江村地図におはなし名の付箋を貼ることで分布状況を確認</p> <p>内山さん→小山田地区のことについて調べる ◎地藏講・旧暦の7月頃 公民館の前 ○赤ちゃんが生まれた家庭の習わし (赤いよだれかけや帽子を用意し地藏さんにかける、 作ったり購入した饅頭を持参) ○この始まりはおくり地藏・・・お盆の行事(我が家の墓の番人) ◎庚申祭り・・・11月4日 山田祭り ○高寺院へ竹を3～4本持って行き、切っていただいて御幣をつくってもらい、それを家に配る。 ○行き倒れの人(山伏さん)のほこら？ ◎番慶の杉野さん(お祓いの人、霊能師)・・・山伏のほこらを粗末にしていないか？ →まつると子供の熱が下がった！</p> <p>◎山北さん ◎若っかもん会・・・若い男の人が若死するから・・・ お盆に神輿を担いで地区を回る。 ◎小山田の地藏さんは大王神社の妹さんの子どもさんがからったりしてあそんでいたらしい。 ◎平山一男さん</p> <p>立石さん→花祭りのことについて調べる ◎村内に8カ所ある 山田地区・・・高寺院、入福さん宅(味噌)、城山さん宅(下城子)、一丸、岩ヶ野、三川さん宅 万江地区・・・西福寺(城内)、松本さん宅？ 横谷さん宅(尾寄崎) ◎萩神社・・・谷口さんより写真を借りる ◎霧島神社・・・一木造りの狛犬・・・横谷番さんに聞いてみる。 ◎大川内薬師堂・川内美智代さん</p> <p>吉川さん→深川さんへの聞き取り・・・つらく思い出したくない御様子で断念 →かなまつほう神さん・・・吉川さんのお母様の実家 →一丸で以前行われていたこと ◎お嫁さんが来ると地藏さんも来て集まる・・・たくさん来た方がいい。 ○地藏さんが来る意味は、地域に居座ってもらえるようにとの願い。 ○行燈とせいろを持って踊る。 ○集まった地藏さんは元あったところへ間違えなく戻していく。 →今は行われていないので、復活したら、と地域の方に言われた。</p> <p>坂田妃美さん→今回から万江地区のことを最も知りたいという願いでメンバーに加入していただく。 ◎くぼやま神社をなぜ権現さんというのか(雨乞いの神様ともいわれる) ○S19年 水害で流れるが屋根1つ残った(以前は2段式だった) S33年9月 鳥居が造られた H元年 拝殿が造られた ○さらに奥へ奥の院がある 松岡信行さんが見に行かれた話によると、大きな岩の下に2つの小さな小屋がある。 険しすぎてなかなか行けない。 ◎熊山神社</p> <p>※祭りごとを昔話に</p>	
<p>次回の内容・日時</p>	<p>花祭りのことや地域の珍しい昔からの伝わったことなどの聞き取り など</p> <p>12月13日(火曜日)10:00～ 地域づくり研究室にて</p>	

文化・教育部会（横山理恵部会長）

書記（吉川和子）

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (H28.9.13、H28.10.4、H28.11.15を踏まえて)</p> <p>出席者名：横山理恵、内山三也子、立石アサエ、坂田妃美、吉川和子、川口伸也 郡 眞聖、佐藤さん 欠席：犬童美津子</p> <p style="text-align: right;">計8人</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>横山さん→12月3日（土）山江村未来塾100人委員会中間状況報告会の報道 ◎各部会の報告について ◎前回の聞き取りについて ◎これからの取組みについての方向性の確認について ◎前回の継続調査の報告 内山さん→「やまだのおごじょ」について調べる ◎井出の口の田山レイさんから資料をお借りした。 高校生の息子さんの文化祭に書いた紙芝居 転勤された当時の先生から手紙つきにて戻ってきた紙芝居 「やまだのおごじょ」「やまだのここじょ」など呼び名あり 実家のお母さんからのおはなし（娘のレイさんへ伝えたかったお母様の思いかも） 「頑張らんでもいい」「そのままがいい」「ふつうでいい」「ほどほどがいい」・・・ 立石さん→花祭りのことと「あぞ山」の水脈について調べる ◎一丸の岡本敦子さんより聞き取り ◎別紙 一丸花祭りのこと、阿弥陀さんのこと、 一丸の裏のあぞ山」の15～16本の水脈が地区の皆さんへ→宅地造成や車庫で湧水がなくなっている。 坂田さん→権現さんについて調べる ◎徳川家康を敬って死んで神様化→東照大権現として祀られる 「権」…仮の 「現」…あらわれる ⇒仮の姿で現れる⇒得体が知れないから怖い ◎京都東照宮・・・仏さま、神様</p> <p>☆これからはポイントを絞って！ 加えていくのではなく、サンプルをつくる。作ってみながらスタートできればいいなあーと！ 2つの方向でまずは、子ども向けの本①「花祭り」→写真とことば 10か所それぞれの特徴をつかみ、 つなげていくストーリー ②「伝助さん」→紙芝居 絵ものがたり→次回実演 「山田のおごじょ」→紙芝居→次回田山さんに実演</p> <p>※花祭りについては調べてないところの聞き取り・・・村内に10カ所ある 山田地区・・・高寺院（郡）、入福さん宅（済）、城山さん宅（犬童）、一丸（済）、岩ヶ野（立石）、 三川さん宅（内山） 万江地区・・・西福寺（立石）、松本さん宅？（坂田） 横谷さん宅（済）淡島（坂田） 「聞き取り内容」・・・呼び名、場所、期日、供え物、材料、準備の仕方、言い伝え、参拝方法、接待、えほん やホームページの名前掲載の確認等了解を得る</p> <p>※次回から田山レイさんメンバーに加入していただく。 ※まずは花祭りについて子どもの気持ちになって知りたいこと、聞きたいことを付箋に書きだす。</p> <p>（今回は、事前に打ち合わせができたこと少し安心しました。と高寺院住職の郡さんがメンバーで参加していただいたことも前向きの方に繋がったと感じました。ありがとうございました。）</p>
<p>次回の内容・日時</p>	<p>各地区の花祭りの聞き取り報告、現在の紙芝居の実演など</p> <p>1月18日（水曜日）13：30～ 地域づくり研究室にて</p>

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について (H28,9,13、H28,10,4、H28,11,15、H28,12,13を踏まえて)</p>				
	<p>出席者名：横山理恵、内山三也子、立石アサエ、犬童美津子、田山レイ、吉川和子 川口伸也、佐藤さん</p> <p>欠席：郡 眞聖、坂田妃美</p>	<p>計8人</p>			
<p>内容 (記録)</p>	<p>※横山部会長より挨拶 ◎前回の継続調査の記録に沿って方向性の確認</p> <p>※花祭りについての調べていない所の聞き取り 山田地区 内山さん→番慶の三川さん宅 犬童さん→下城子の城山さん宅</p> <table border="1" data-bbox="347 712 1473 1205"> <tr> <td data-bbox="347 712 512 1205"> <p>聞き取り内容</p> </td> <td data-bbox="512 712 970 1205"> <p>三川さん宅</p> <p>呼び名 場所 期日 供え物 材料 準備の仕方 言い伝え 参拝方法 接待 その他</p> <p>裏の杉の木のお堂 旧暦の4月8日・・・今年は5月3日（水曜日） 甘茶（戸屋から購入） お花は季節のもので用意できるもの 前日から準備 甘茶のみ30分ほど煮出す。</p> <p>お釈迦様、お神酒は家の中で お参りされた後、三川さん宅で煮物などを 食べたりする。三川さん1軒で1日ばかりで 接待する 甘茶は1.50300円、小ボトル200円で 売られる。</p> </td> <td data-bbox="970 712 1473 1205"> <p>城山さん宅</p> <p>山江村指定瑞光寺跡阿弥陀堂 山田甲1550 城山さん宅</p> <p>正月は餅、花祭りは甘茶、お盆は饅頭 花を飾ったり、甘茶を準備したりする。 昔は城山家、次山家、田山家の3軒で行って いたが、現在は城山家1軒で行っている。 昔は寺屋敷だったのをここにまとめてあると 聞く。つぶれ寺だったとのこと。 石原地区は大体お参りに来る。下城子や 寺の下からは甘茶を買いに来る。 詳しくはわからないが、2年前に資料館へ 阿弥陀さんと「ごないかさん」を移設。</p> </td> </tr> </table> <p>※『城山観音堂』…「じょうざんかんのんどう」これは城山さんの管理ではない(城子さん宅)</p> <p>※「やまだのおごじょ」について 田山レイさんより実家のお母さんからのお話を詳しくお聞きする事ができた。 持参していただいた紙芝居「やまだのおごじょ」を説明していただき実演いただく。 おごじょ…鹿兒島弁 おなご…山田弁 ここじょ…「こう」という娘、という意味ではないか。 ※「山田の伝助さん」の紙芝居をこれまでに関わっているメンバーにて実演する。</p> <p>今日の2つの紙芝居を中心に田山さんより「おごじょ」のこと、「伝助さん」のことをもっと詳しく知ることができ 楽しく取り掛かることができたこと、これからのポイントを絞ってのサンプルの見通しがわかってきたように感じ ました。</p> <p>※佐藤さんより「花祭り」の絵本作りについて 子どもの目線やわかりやすい表現などでキーワード作り、知りたいことや、聞きたいことなどを付箋に記入する方 法等を助言いただき、ワクワクするような多くのサンプルづくりなどを提案いただきました。 絵本作り・・・ストーリーがいる。ゴール（伝えたいこと）を決める。</p>		<p>聞き取り内容</p>	<p>三川さん宅</p> <p>呼び名 場所 期日 供え物 材料 準備の仕方 言い伝え 参拝方法 接待 その他</p> <p>裏の杉の木のお堂 旧暦の4月8日・・・今年は5月3日（水曜日） 甘茶（戸屋から購入） お花は季節のもので用意できるもの 前日から準備 甘茶のみ30分ほど煮出す。</p> <p>お釈迦様、お神酒は家の中で お参りされた後、三川さん宅で煮物などを 食べたりする。三川さん1軒で1日ばかりで 接待する 甘茶は1.50300円、小ボトル200円で 売られる。</p>	<p>城山さん宅</p> <p>山江村指定瑞光寺跡阿弥陀堂 山田甲1550 城山さん宅</p> <p>正月は餅、花祭りは甘茶、お盆は饅頭 花を飾ったり、甘茶を準備したりする。 昔は城山家、次山家、田山家の3軒で行って いたが、現在は城山家1軒で行っている。 昔は寺屋敷だったのをここにまとめてあると 聞く。つぶれ寺だったとのこと。 石原地区は大体お参りに来る。下城子や 寺の下からは甘茶を買いに来る。 詳しくはわからないが、2年前に資料館へ 阿弥陀さんと「ごないかさん」を移設。</p>
<p>聞き取り内容</p>	<p>三川さん宅</p> <p>呼び名 場所 期日 供え物 材料 準備の仕方 言い伝え 参拝方法 接待 その他</p> <p>裏の杉の木のお堂 旧暦の4月8日・・・今年は5月3日（水曜日） 甘茶（戸屋から購入） お花は季節のもので用意できるもの 前日から準備 甘茶のみ30分ほど煮出す。</p> <p>お釈迦様、お神酒は家の中で お参りされた後、三川さん宅で煮物などを 食べたりする。三川さん1軒で1日ばかりで 接待する 甘茶は1.50300円、小ボトル200円で 売られる。</p>	<p>城山さん宅</p> <p>山江村指定瑞光寺跡阿弥陀堂 山田甲1550 城山さん宅</p> <p>正月は餅、花祭りは甘茶、お盆は饅頭 花を飾ったり、甘茶を準備したりする。 昔は城山家、次山家、田山家の3軒で行って いたが、現在は城山家1軒で行っている。 昔は寺屋敷だったのをここにまとめてあると 聞く。つぶれ寺だったとのこと。 石原地区は大体お参りに来る。下城子や 寺の下からは甘茶を買いに来る。 詳しくはわからないが、2年前に資料館へ 阿弥陀さんと「ごないかさん」を移設。</p>			
<p>次回の内容・日時</p>	<p>「花祭り」についてのサンプルづくり 2月22日（水曜日）午後1時30分～ 地域づくり研究室にて</p>				

番号	見出し	内容	備考
1	花まつりって何？	<ul style="list-style-type: none"> ・「花まつり」って何？ ・花まつりって何のこと ・花まつりってどんなまつり？ ・どんなお花のおまつりですか？ ・「花まつり」ってお花のおまつりの事？ 	
2	しゃかんしる	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃかんしる 	
3	おしゃか様	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃかさまってどんな人？ ・おしゃか様はどんな人、何をする人 	
4	甘茶？	<ul style="list-style-type: none"> ・甘茶はどんなお茶 ・あまちゃっておいしいの？どんな味？ 	
5	はじまり	<ul style="list-style-type: none"> ・だれが始めたの？ ・今、行われている家は、どうしてそこが選ばれたの？ ・花まつりって誰がするんですか？ ・どこで始めたの？ 	
6	いつするの？	<ul style="list-style-type: none"> ・いつから、まつりをやっているの？ ・いつするの？ ・いつから行われているの？ ・花まつりっていつあるの？ ・なぜ旧暦なのか 	
7	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・花まつりに行きたいのだけど、どこに行ったらいいの？ ・どこであるの？ ・花まつりってどこをするの？ ・山江村ではどれ位の地区で花まつりをしているんですか？ ・現在、だれがしているの？ 	
8	どんなことをするの？	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことをするの？ ・花まつりってどんなお花をかざるの？ ・なぜ屋根はきれいな花でかざるんだろう ・お花をかざるおまつりのことですか？ ・おまつりの手順とかあるの？ ・おそなえものは？ ・どんなしてお参りするの？ ・用意するものは？ ・どんな料理がでるの？（作り方は？） 	
9	ご利益	<ul style="list-style-type: none"> ・お参りしたらどんなことがきくの？いいことあるの？ ・甘茶のおまじないがいくつかあるよ ・何のためにしてるの？ 	
10	だれでも行けるの？	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する人はだれ？（決まっているの？） 	
11	やまえだけ？	<ul style="list-style-type: none"> ・山江村以外では、されているの？ ・花まつりって山江村だけなの？ ・やまえじゃないよそれでもやっているの？ 	
12	お知らせは？	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、まつりのことをどうやって知らせしているの？ 	
13	伝承（守り伝える）	<ul style="list-style-type: none"> ・何のために続けていくの？ 	

<p>主題 (テーマ)</p>	<p>1. 部会の活動について 2. 3. (H28,9,13 H28,10,4 H28,11,15 H28,12,13 H29,1,18 H29,2,22 を踏まえて) 出席者名：横山理恵、内山三也子、犬童美津子、立石アサエ、吉川和子 川口伸也、佐藤和弘 欠席：坂田妃美、郡 眞聖、田山レイ</p>	<p>計 7 人</p>
<p>内容 (記録)</p>	<p>※横山部会長より挨拶 ◎前回の未継続調査（西福寺、岩ヶ野、三川さん宅） ◎前回の「花祭り」について・・・ワークショップの作成について報告 ※佐藤さんより ◎前回のワークショップ「花祭りの構成案」別紙と記録紙について説明 ※立石アサエより ◎岩ヶ野公民館の「花祭り」について報告・・・別紙 ◎西福寺、阿弥陀堂「花祭り」について報告・・・別紙 ※内山さんより ◎三川さん宅の「花祭り」について報告・・・別紙</p> <p>☆今日は、「絵を考えましょう」と、 これまで取り組んでの写真で紹介などを分野ごとにまとめながら整理する。 内容を言葉として、考え、13枚くらいの紙芝居を作成しよう！と。 例 夕食の団欒でのおじいちゃんやおばあちゃんと孫との会話から始まる。 「明日、阿弥陀さんの甘茶飲み、「花祭り」に行こうね。」・・・</p> <p>まずは、今年は4月8日 → 人吉市でのお寺の「花祭り」見学 5月3日 → 山江村の「花祭り」見学 どちらも、見学できる方で、無理しない事 なかなか難しくなり、「絵」??「文」??・・・が先か難題 「絵」が得意とする7区の中竹浩之さんをお願いすることになる。→ 佐藤さんよりお伝えしていただく。</p> <p>ワークショップ「花祭り構成案」を参考に、ストーリーを考えるけど、できなかったのが、次回まで宿題。</p> <p>☆立石アサエさんより 手書きの蒔絵の歳時記等を紹介していただく。相当な時間を費やししかも一人でコツコツと調べられたとても貴重な宝物を山江村にもこんな素晴らしい方が存在していることをみんなで確認した。</p>	
<p>次回の内容・日時</p>	<p>各自「花祭り」紙芝居用ストーリーを考えて発表 4月12日（水曜日） 13:30～ 地域づくり研究室にて</p>	